

あーすフェスタかながわ2015実施報告書

みんなで育てる多文化共生

はじめに

神奈川県には、現在、約 164 の国と地域の 16 万 6 千人を超える外国籍の人々が暮らしており、互いに多様な価値観や文化を理解し尊重しながら、「共に生きる」ことのできる豊かな多文化共生社会を築いていくことが求められています。

私たちは、多文化共生社会の実現に向けて、さまざまな文化的背景を持つ多くの県民が集い、出会い、それぞれの文化や考え方をアピールするとともに、互いを理解するため、2000 年から毎年、「あーすフェスタかながわ」を開催してきました。

あーすフェスタかながわは、民族団体、NGO、市民グループ等で実行委員会を組織し、多様な国籍、文化を持つ実行委員、企画委員が話し合いを重ね、企画、準備をすすめて開催してきました。

プログラムは、「みんなで育てる多文化共生」をテーマに、民族芸能ステージ、外国籍県民フォーラム、屋台村、ワークショップ、展示企画など、それぞれ工夫を凝らしたものとなりました。

16 回目を迎えた今回のフェスタを無事成功裏に終えることができ、開催に御協力いただいた皆さまには心からお礼申し上げます。これからも、多文化共生社会の実現のために、皆さまと共に歩んでいきたいと思っております。

あーすフェスタかながわ 2015 実行委員会

委員長

神奈川県 拉致問題・国際戦略担当局長県民局長

おおたけ じゅんいち
大竹 准一

副委員長

横浜華僑総会 会長

しゃ せいほう
謝 成發

在日本大韓国民団神奈川県地方本部 団長

きむ いじゅん
金 利中

在日本朝鮮人総聯合会神奈川県本部 委員長

り よんぶん
李 榮勳

監事

公益財団法人 かながわ国際交流財団 専務理事兼事務局長

みずた ひでこ
水田 秀子

特定非営利活動法人 地球の木 理事長

まるたに しづこ
丸谷 士都子

委員

あーすネットかながわ 代表

ゆん いるひよく
尹 日赫

公益財団法人 アジア福祉教育財団難民事業本部 本部長

かみやま たけし
神山 武

外国人学校ネットワークかながわ 代表

しまもとあつし エルネスト
島本 篤

神奈川県 県民局くらし県民部国際課長

わか まさあき
脇 雅昭

神奈川県立国際言語文化アカデミア 所長

みくに たかし
三國 隆志

神奈川県立地球市民かながわプラザ（あーすぷらざ）館長	あべ くにひろ 安部 晋弘
特定非営利活動法人 かながわ難民定住援助協会 会長	さくらい ひろこ 櫻井 弘子
クメールボランティア協会 会長	ながせ えいき 長瀬 永輝
独立行政法人 国際協力機構 横浜国際センター 所長	おぼた としひろ 小幡 俊弘
小菅ヶ谷連合町内会自治会 会長	たなか ふさかず 田中 房一
特定非営利活動法人 在日カンボジアコミュニティ 理事長	いさ りすれん 伊佐 リスレン
特定非営利活動法人在日本ラオス協会 理事長	ひさなが ひろき 久永 広喜
栄区文化協会 会長	かざま としひこ 風間 聰彦
公益社団法人 青年海外協力協会 会長	かねこ ようぞう 金子 洋三
外国籍県民かながわ会議 委員長	なかむら ノーマン 中村 ノーマン
多文化活動連絡協議会 代表	なかむら ノーマン 中村 ノーマン
横浜市栄区民文化センター（リリス） 館長	えんどう よしひこ 遠藤 美彦
横浜市栄区役所 区長	おなか ふじお 尾仲 富士夫
事務局長	
神奈川県 県民局くらし県民部国際課副課長	さとう たつや 佐藤 達也

以上 24 名（2015 年 5 月 17 日現在）

目次

あーすフェスタかながわ 2015	
1．実施概要	1
2．実施内容	3
3．外国籍県民フォーラム	13
4．来場者アンケート結果	33
5．企画委員名簿	39
6．開催経過	41
7．収支報告	43
8．あーすフェスタかながわテーマソング	44

1. 実施概要

テーマ

みんなで育てる多文化共生

趣旨

神奈川県には、現在、約 164 の国と地域の約 16 万 6 千人の外国籍の人々が暮らしており、互いに多様な価値観や文化を理解し尊重しながら、「共に生きる」ことのできる豊かな多文化共生社会を築いていくことが求められています。

あーすフェスタかながわ 2015 は、多文化共生社会の実現に向けて、様々な文化的背景を持つ多くの県民が集い、出会い、それぞれの文化や考え方をアピールすると共に、互いを理解する機会を作るため、県内の民族団体、NGO、市民ボランティア等が企画段階から共に力を合わせ開催したものです。

日時

2015 (平成 27) 年 5 月 16 日 (土)、17 日 (日)

会場

あーすぷらざ (神奈川県立地球市民かながわプラザ)
リリス (横浜市栄区民文化センター)

入場者数

約 19,000 人

主催

あーすフェスタかながわ 2015 実行委員会

(構成団体)

あーすネットかながわ	公益財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部
外国人学校ネットワークかながわ	外国籍県民かながわ会議
神奈川県	神奈川県立国際言語文化アカデミア
神奈川県立地球市民かながわプラザ (あーすぷらざ)	公益財団法人かながわ国際交流財団
NPO 法人かながわ難民定住援助協会	クメールボランティア協会
独立行政法人国際協力機構横浜国際センター	小菅ヶ谷連合町内会自治会
NPO 法人在日カンボジアコミュニティ	在日本大韓国民団神奈川県地方本部
在日本朝鮮人総聯合会神奈川県本部	NPO 法人在日本ラオス協会
栄区文化協会	公益社団法人青年海外協力協会
多文化活動連絡協議会	NPO 法人地球の木
横浜華僑総会	横浜市栄区民文化センター (リリス)
横浜市栄区役所	

(以上 23 団体(50 音順) 平成 27 年 5 月 17 日現在)

後援

外務省

駐横浜大韓民国総領事館

神奈川県日韓親善協会連合会

横浜市

相模原市

公益財団法人横浜市国際交流協会

相模原市国際化推進委員会

N H K 横浜放送局

F M ヨコハマ

神奈川県商工会連合会

横浜商工会議所

独立行政法人国際交流基金

中華人民共和国駐日本国大使館

神奈川県日本中国友好協会

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会

川崎市

神奈川県教育委員会

公益財団法人川崎市国際交流協会

神奈川新聞社

t v k (テレビ神奈川)

一般社団法人神奈川県商工会議所連合会

日本労働組合総連合会神奈川県連合会

一般財団法人自治体国際化協会

(以上 23 団体 (順不同))

協賛

株式会社飛鳥創業

一楽

株式会社エムエスエヌ

公益社団法人神奈川県医師会

一般社団法人神奈川県歯科医師会

神奈川県生活協同組合連合会

神奈川県日韓親善協会連合会

公益社団法人神奈川県病院協会

株式会社金港美装

在日本大韓国民団神奈川県地方本部

株式会社佐藤印刷所

株式会社三光ビルサービス社

生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ

公益社団法人全日本不動産協会神奈川県本部

一般社団法人中華會館

中華街停車場

東方紅物産

株式会社二十一国際旅行社

ネパリ・バザー口

株式会社ファーストビデオ

藤木企業株式会社

牡丹園

有限会社松中一級建築士事務所

株式会社メルヘン

有限会社ヤマカプランニング

横浜商工会議所

株式会社横溝工務店

いずみ野皮ふ科

有限会社えのき商会

王府井

一般社団法人神奈川県建設業協会

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会

公益社団法人神奈川県宅地建物取引業協会

神奈川朝鮮中高級学校

公益社団法人神奈川県薬剤師会

金香楼

在日本朝鮮人総聯合会神奈川県本部

株式会社産業貿易センター

謝甜記

生活クラブ生活協同組合

大珍楼

中華街桂宮

通信設備株式会社

有限会社鳥鎌商店

日本労働組合総連合会神奈川県連合会

ノムラテクノ株式会社

株式会社V S O C

ヘアプラスチック

三菱重工メカトロシステムズ株式会社

株式会社民建

株式会社八雲堂

株式会社横浜華聯旅行社

横浜中華学校校友会国術団

ラボ教育センター神奈川総局

(以上 54 企業・団体 (50 音順))

2 . 実施内容

あーすフェスタかながわ 2015 の 2 日間にわたる模様を、プログラムごとに紹介します。

1 オープニングプログラム

【開会式】

県立柏陽高校の吹奏楽部による演奏を交えながら、実行委員長の開会宣言、副知事挨拶、来賓の紹介等を実施しました。

日 時：16 日（土） 10：30～11：10

場 所：2 階 アトリウム

参加者数：約 200 人



2 ワークショッププログラム

国籍・文化の違いを超えて、共に「遊ぶ」「飲む」「聞く」「踊る」「書く」ことで、「多文化共生」の楽しさを感じることを目的に、子どもから大人まで気軽に体験できる参加型ワークショップを実施しました。

【せかいの絵本の読み聞かせとおはなし】

せかいのことばでの絵本の読み聞かせとおはなしの他、絵本にちなんだクラフトコーナーも開催しました。

日 時：16 日（土）11：00～15：30 計 5 回、17 日（日）11：00～15：30 計 5 回

場 所：2 階 情報フォーラム

参加者数：281 名（2 日間合計）

講 師：THE アート・プロジェクト多文化読み聞かせ隊メンバー、スミヤント、SMBC コンシューマーファイナンス株式会社他

【せかいの遊び場】

外国につながる中高校生や大学生の説明により、世界のさまざまな遊びを来場した子どもたちが体験しました

日 時：16 日（土）11：00～16：00

17 日（日）10：00～16：00

場 所：1 階 大・中会議室、ワークショップルーム

参加者数：1,387 人（2 日間合計）

講 師：共学舎、NPO 法人多文化共生教育ネットワークかながわ、国際教師団ファーストラビット、ヨコハマハギハッキョ、トマトマ教室他



【せかいのわらべうた（こどものあそび歌）】

親子日本語教室や地域の日本語教室に通う外国の方々を講師に迎え、いろいろな国の手遊び歌、数え歌、わらべ歌などを紹介しました。

日 時：16 日（土）11：30～11：50、13：10～13：30、14：00～14：15、15：00～15：15

場 所：1階 保育室
参加者数：128人（2日間合計）
講 師：親子日本語教室等受講者のみなさん

【せかいの音と踊り】

2日間で4種類のワークショップを開催し、大人から子どもまで幅広い来場者が参加しました。

世界にニ－ハオ！みんなで腰鼓をやってみよう
ココナツを手に、カンボジアのココナツダンス
みんなで奏でよう インドネシアのアンクルン
韓国の伝統打楽器チャンゴの響き

日 時：16日（土） 11：00～12：00
 13：30～14：30
 17日（日） 11：00～12：00
 13：30～14：20

場 所：1階 創作スタジオ
参加者数：220人（2日間合計）
講 師：いきいきニ－ハオの会
 萩原カナ、松橋南里
 小池メイワティ
 NPO農楽教室



【せかいのごあいさつを毛筆で】

栄区書道協会師範のみなさんを講師に迎え、毛筆でせかいのあいさつを書く教室を開催しました。

日 時：16日（土）11：00～16：00

場 所：1階 研修室A

参加者数：72人

講 師：栄区書道協会師範のみなさん



【せかいのお茶をどうぞ】

中国、韓国、日本のお茶とお菓子を来場者に提供しました。

日 時：17日（日）11：00～16：00

（お茶とお菓子がなくなり次第終了）

場 所：1階 研修室A

参加者数：153人（各コーナー定員50名）

講 師：ともしびカフェ ポエム'10（中国）、

鄭榮誠（韓国）、栄区礼法の会

参加費：200円（お茶+お菓子代）



3 パフォーマンスプログラム

民族音楽や民族舞踊の華麗なステージ、盛りだくさんのプログラムが繰り広げられました。民族舞踊や民族音楽を通して、それぞれの地域の特色や文化の多様性がアピールされました。フィナーレでは、あーすフェスタならではの様々な民族楽器・舞踊によるセッションとともに、あーすフェスタテーマソングを披露して、盛況のうちに幕を閉じました。

【大道芸】

子どもたちに大人気のパルーンアートやテーブルマジックを行いました。

日 時：16日（土）開会式終了後～15：30

場 所：アトリウムほか

【みんな集まれ！アイランド！】

MCベトと明治学院大学アナウンス研究会による司会でファッションショーや音楽、踊りを披露し、屋台やバザールの紹介、カラオケなども開催しました。

日 時：16日（土）、17日（日）11：00～16：00

場 所：アイランドステージ

出 演：MCベト、明治学院大学アナウンス研究会他



【せかいが響く魅惑のミュージック】

パラグアイ、イラン、ウクライナの素晴らしい演奏が披露されました。

パラグアイ・アルパ イランミュージック

ウクライナ・パンドウーラ

日 時：16日（土） 13：00～15：30

14：00～14：30

15：00～15：30

場 所：2階 リリスホール

出 演：エンリケ・カレーラ ナヒード・吉成



カテリーナ

【ここ（栄区）から発信未来へGO！】

多様な背景を持つ若い世代がいきいきと演じました。ステージ最後のプチフィナーレでは、すべての出演者が共演し、この日にしか見られない異色のコラボレーションを披露しました。

日 時：17日（日）12：20～14：00

場 所：2階 リリスホール

出 演：ダイアナ石山 SONG&DANCE ミュージカル教室、

神奈川朝鮮中高級学校民族管弦楽部、The Up Cedar's、栄区民謡連盟



【若い力と民族の鼓動】

あーすフェスタかながわ初出演の若い世代のアーティストやおなじみのグループによるステージ。来場客と一体となり海外を身近に感じました。

日 時：17日（日）14：00～16：35

場 所：2階 プラザホール

来場者数：約 500 人

出 演：矢野ブラザーズ、KP フニ、刈川圭祐、NPO 民団国際協力センター、アバダカポエイラ、神奈川朝鮮中高級学校舞踊部、横浜中華学校校友会国術団、Nioun(ニュン)、バスンダリ他



【フィナーレ】

あーすフェスタかながわでしか見ることのできない国際色豊かなアーティストによる音楽と踊りのコラボレーションでフェスタを締めくくりました。

日 時：17日（日）16：35～17：30

場 所：2階 プラザホール

来場者数：約 660 名

出 演：tomoko、NPO 民団国際協力センター、アバダカポエイラ、神奈川朝鮮中高級学校民族管弦楽部、横浜中華学校校友会国術団、Nioun(ニュン) 他



【フラッシュモブ】

神奈川朝鮮中高級学校民族管弦楽部のみなさんが、前触れなく突如パフォーマンスを行うフラッシュモブとして演奏を行いました。



4 フォーラムプログラム

フォーラムプログラムでは、来場者が新しい出会い、新しい気づきができるよう様々な企画を用意いたしました。複数の国籍、幅広い年代のパネリストと共に、人とのつながりや多文化共生社会を考えるフォーラム等を実施しました。

【外国籍県民フォーラム 『かながわに暮らす外国人から多文化共生を考えよう。』

～ 互いの理解・尊重から始まる多文化共生～】

地域には様々な背景を持つ外国人が暮らしています。彼らがどのような生活をしているのか、どのようなことに困っているのかを知るために3人のパネリストにお話いただきました。（詳細はP13）

日 時：16日(土) 13:30～16:00 (13:00 開場)

場 所：プラザホール

来場者数：109人

コーディネーター：滝田祥子

(横浜市立大学総合科学部教授)

パネリスト：尹卿恵(YMCAつるみ保育園)

新岡史浩(NPO法人在日本ラオス協会)

サルマン・アハメド

(ブリティッシュインターナショナルスクール綾瀬校長)



【多文化共生を考えるワークショップ 外国人労働者の受入れから多文化共生へ】

オリンピック招致を契機に地域の多文化共生を考えるワークショップを開催しました。

日 時：17日(日) 10:00～12:30 (9:45 開場)

場 所：企画展示室

出 演：鈴木江里子

(国士舘大学文学部教授 社会学博士)



【シネマコレクション 映画『パベルの学校』映画上映とトークショー】

“違ってたっていい。違ってるといい。”24人の生徒、20の国籍、24のストーリー。フランス中を感動に包んだドキュメンタリー。

(監督：ジュリー・ベルトウチェリ /2013年/フランス/89分)

日 時：17日(日) 13:30～15:40

場 所：映像ホール

来場者数：約150人



5 交流・展示プログラム(於：リリスギャラリー/リリス会議室)

神奈川県と友好都市の紹介、世界各国の様々な楽器の展示や民族衣装の試着などを通して、世界と神奈川とのつながりや、色々な民族や文化を知ることができる企画を実施しました。今回は「せかいのみんなとなかよくなるには」をテーマに、人との交流を重視した企画を用意しました。

【外国人学校の子もたちの絵画展】

県内の外国人学校に通う子どもたちが描いた、本や読書についての絵を展示。

【外国籍県民かながわ会議を知ろう】

外国籍県民かながわ会議の提言内容をイラスト付きで紹介しました。



【子どもたちの学校紹介】

外国人の子どもたちが学校、クラスについて紹介し、子どもたちの発表と来場者との交流の場となりました。

学校紹介：プリティッシュ・インターナショナルスクール、エスコラ・アクアレラ・ブラジル、横浜朝鮮初級学校、川崎朝鮮初級学校、南武朝鮮初級学校



【世界とつながる JICA 世界とつながる神奈川県】

JICA 事業を通じた地元神奈川の市民や団体の活動や、神奈川県と世界のつながりを友好交流先を中心に紹介しました。

【大きな絵本】

双子のたい子ちゃんとたい木くんが会場を訪れ、世界のみんながなかよくなるにはどうすればよいのか問いかける物語を展示しました。



【触れてみよう！着てみよう！世界の楽器・民族衣装】

世界の民族楽器を多数展示。演奏体験や民族衣装を着ての記念撮影も行いました。

【世界のあいさつ教室】

ポルトガル語、カンボジア語など様々な言語でのあいさつをクイズ形式で学びました。1回 15分で日本語の授業も開催しました。

講師：高橋メラニー、ホジャ・シャバン、紀仁、栗田モニカ、堀口 妙香



【世界の絵はがき】

世界各地の風景、人物など、多文化共生の視点で広い世界を感じることができる展示をしました。

【地球一周の船旅】

NGO ピースボートの「ヒバクシャ地球一周の船旅」より映像、文字、音楽で世界の情景を紹介しました。80分、1日3回上映しました。



【日本とパラオ～歴史を越えた友情】

戦後70年を迎え、パラオ共和国の戦前、戦後の写真を展示し、両国の絆を伝えました。

6 世界屋台村 (16日(土)、17日(日) 11:00~16:00、池の周辺)

27店の出店があり、世界各地のエスニック料理を多くの人が楽しみました。今年も環境に配慮したリサイクル容器を利用しました。

リサイクル協力：社会福祉法人 同愛会 リサイクルセンター リプラス

	店名	主なメニュー
1	インカ レストラン	串焼きアンティークーチョ チョリパン
2	easy.kitchen	トロピカルスムージー ベーコンチーズバーガー
3	スーパーフーズブラジル	パステル コシーニャ
4	(特活)ユーラシアンクラブ	ペルシャンケバブカレー ザクロジュース
5	ラテン文化センター	チョリソ トルティーヤ
6	(株)メルヘン	やきそば クレープ(アメリカンタイプ)
7	在日大韓民国婦人会 神奈川県湘南西支部	チヂミ トッポッキ
8	(特活)在日本ラオス協会	クワミー(ラオス焼きそば) カオラープマー(ラオスどんぶり)
9	エスクエラ・デ・エスパニョール	タマレス チキンソテー
10	朝鮮青年同盟 湘南西湘支部	プデチゲ チヂミ
11	大船チャンプル	沖縄そば オリオンビール
12	バオバブの会	ヤーササンド マーフェサンド
13	HAYA-HAY	キーマカレー バトゥラ
14	クメールボランティア協会	カンボジアラーメン 串焼き肉
15	(特活)地球市民 ACT かながわ/TPAK	タイラーメン
16	横浜コンスタンツァ友好委員会	ルーマニアワイン
17	(特活)地球の木	ちぢみ
18	Asante!	フィリピン焼きそば ウガリ

19	ブラジル移民支援グループイン神奈川	ブラジルソーセージ ブラジルパステル
20	ASIA SIAM FOOD	ガパオ炒め グリーンカレー
21	ペルシャ・アラビアン ISGAHE PORKHORI	揚げナン 串ケバブ
22	(株)タヒチプロモーション	ヒナノビール 炙り焼きビーフタヒチアンソースがけ
23	キッチン アンドバー パーク	ハンバーガー チーズポテト
24	サン ケバブ	ケバブ ザクロジュース
25	JUMPA 横浜 NPO 国際交流会	ナシゴレン ミゴレン
26	いんどばん	チキンカレー 野菜の天ぷらパコラ
27	青年海外協力隊神奈川県 OB 会	ホットコーヒー

7 ワールドバザール

(16日(土)、17日(日) 10:00~16:00 アプローチ・デッキ)

32店の出店があり、NGOや民族グループが、それぞれの活動をアピールしながら、世界の民芸品、工芸品、民族音楽CDなどを販売しました。

	店名	販売・展示物品
1	オフィス五タラント	マラウィ ハニー (レモン、しょうが)
2	(特活)日ロ文化交流センター	ロシアの民芸品 ロシアの音楽、楽譜 ほか
3	バオバブの会	アフリカン・プリント製バッグ、ポーチ ほか
4	スリランカ雑貨のラクリヤ	サリー雑貨 コットン製品 ほか
5	(特活)イーグル・アフガン 復興協会	アフガニスタンの写真・ちらし 小物(小さな絨毯・工芸品) ほか
6	国連ウィメン日本協会よこはま	スカーフ類・洋服 バッグ類 ほか
7	(特活)JUNKO Association	文房具 食雑貨 ほか

8	あめ細工	あめ細工
9	アジアの女性と子どもネットワーク	紹介パネル アクセサリー ほか
10	(特活)地球の木	オリジナルシルクのバッグ・ポーチ 蚊帳ポーチ
11	(特活)ピラーンの医療と自立を支える会	糸芭蕉(アバカ)の繊維を草木染め、手織りしたティナラク織 ほか
12	ヘナボディアート Purana	ヘナボディアートの体験 ヘナアート雑貨 ほか
13	LUVENTO	アフリカバッグ タイ・ベトナムバッグ ほか
15	アンデス音楽グループ MACHUPICCHU	民族楽器(ケーナ、サンポーニャ、オカリナ) ほか
14	ソーブカービング体験教室	ソーブカービング体験教室
16	パリパール	バングラデシュの雑貨・衣類など
17	BorDer Japan	ケランボードの体験・販売 ルンギー(バングラ製の布)販売
18	アンデス・アルテ	オカリナ 民族楽器 ほか
19	ババ・アフリカ	絵画 アートフレーム ほか
20	コポトッコ・バングラデシュ	小物、バッグ 洋服、ベビー服 ほか
21	カンボジア母国語を保証する会	民芸品(シルク・スカーフ・カバン・財布・ミサンガ)
22	マダガスカルカンパニー ジャパン(株)	ラフィア製かごバッグ・帽子 刺繍製品 ほか
23	LOS ANDES(エクアドル)	衣料品 装身具 ほか
24	チーム ピース チャレンジャー 川崎支部	ミサンガ、ストラップ、ネックレス カシミール地域のショール ほか
25	シンチャオ	民芸品(バッグ・小物入れなど) 工芸品(手作り竹細工・スプーン)
26	日本インドネシア NGO ネットワーク	バリ島木彫り動物、ビーズアクセサリ ー ほか
27	印度支那倶楽部	アジア山岳少数民族(モン、アカ、ヤフー、リソー族)の手刺繍衣料

28	HAYA-HAY	ネグロス島の小麦粉袋をアップサイクルした製品 ほか
29	Los Andantes (ラテンアメリカの視覚障害者と歩む会)	ペルーの民芸品 ペルーでの活動紹介パネル
30	チニーズ	各種スパイス 缶詰など食品 ほか
31	エジプトに輸入雑貨 Rania	エジプト輸入雑貨 (ガラベータ、エジプシャンアロマグラス、シーシャ)
32	ESTACIO RECORDS	ワールドミュージックの中古CD・新品CD

3. あーすフェスタかながわ 2015 外国籍県民フォーラム

かながわに暮らす外国人から多文化共生を考えよう

～互いの理解・尊重から始まる多文化共生～

日時：2015年5月16日(土) 13:30～16:00

会場：あーすぷらざ 2階 プラザホール

パネリスト：尹卿恵(YMCAつるみ保育園)、新潟史浩(NPO法人在日本ラオス協会)、
サルマン・アハメド(プリティッシュインターナショナルスクール綾瀬校長)

コーディネーター：滝田祥子(横浜市立大学)

来場者数：109名

司会

ただいまより、「あーすフェスタ 2015 外国籍県民フォーラム かながわに暮らす外国人から多文化共生を考えよう～互いの理解・尊重から始まる多文化共生～」を始めます。本日司会を務めます、在日本朝鮮青年同盟の李慧瑛です。よろしくお願いします。

この外国籍県民フォーラムでは、コーディネーターとして横浜市立大学総合科学部教授の滝田祥子先生を、パネリストとして、YMCAつるみ保育園保育士の尹卿恵さん、在日ラオス協会事務局長の新潟史浩さん、プリティッシュインターナショナルスクール綾瀬の校長サルマン・アハメドさんの三名をお招きしています。

それでは、本日の流れについて簡単に説明します。まず初めに企画委員の裴安より本フォーラムの趣旨説明とパネリストの方々のプロフィール紹介を行います。その後、滝田氏の進行のもとパネルディスカッション・質疑応答へ進みます。

では、裴安さん、趣旨説明とプロフィール紹介をお願いいたします。

裴安

みなさんこんにちは。本企画の担当の裴安と申します。本日は3名のパネリストとコーディネーターの滝田先生をお招きしています。

まず、なぜこのような企画を始めたのかについて少しだけお話ししたいと思います。外国籍の人たちが神奈川県内には16万人ほど生活しております。160の国籍・地域の出身の方々がその構成員となりますが、外国人のイメージは、一時的な滞在者、もしくは旅行者というのが非常に強いと思います。

ほとんどの方は、私も含め日本で定住し、永住します。日本で生活していながら、それぞれの文化・言語・歴史・考え方などの自分の文化やアイデンティティを保持しながら生きていくことは非常に難しいというのが現実です。

マイノリティである私たちは、常に日本の社会にうまく折り合い、どのようにみんなと普通

に生きていくのかを考えながら工夫しながら生きていますが、マジョリティの方との折り合いというのはなかなか見当たりません。もちろん、外国籍の方々が当たり前に暮らせるように努力したり、私たちと一緒に汗を流したりしてくださる方々もたくさんいますが、普段の生活の中では、少数者としての生きにくさ、主張のしにくさが思いやられることは非常に少ないのが現実です。

本日はお三方をお招きしていますが、文化・生活・宗教といったさまざまなものが切っても切り離せない関係にあることを、それぞれの方にお話ししたいと思っています。

最近、テロを起こす団体が、宗教と関係があるのではないかということで、偏見と誤解を招くような言動が目につきます。特に、テロが起きた際に、テロを起こした人が属する宗教的団体や民族に対する攻撃が強くなるという経験を私たちは日本で何度も経験しています。このようなことは、日本においての一般的な宗教や文化・生活と切り離されて考えられがちですが、それぞれが自分たちの生活の中あり、文化とどういった歴史が織りなされているのかを向き合っ
て学び、考えなければいけないと思います。

本日は滝田先生はじめ、お三方に、このようなことを普段の生活の中でいかに考え、行動しているか、そして、今後どうしたら神奈川県を多文化共生の地域に作っていくことができるかのご意見・ご感想などをいただければと思います。

では、パネリストの方々をご紹介します。尹卿恵さんは、在日コリアン1世のお父様と2世のお母様の間に生まれました。自分探しを続けながら、保育、キリスト教神学を学び、韓国への語学留学を経て、在日コリアンの多住地域の京都市南区東九条の希望の家カトリック保育園にて保育士として勤められました。結婚を期に関東に移住し、1989年から神奈川県川崎市に在住。子育てとともに青丘社桜本保育園に23年間勤められました。さまざまなバックグラウンドを持つ子どもたちと向き合いながら毎日仕事をされています。

新岡さんは、研修生として日本に滞在された経験があります。タイの難民キャンプを経て家族とともに来日されました。その後、日本語や生活習慣などを学ぶため、姫路定住センターに入所されました。1980年から神奈川県にて生活をされており、難民事業本部を経て、現在もラオス語の通訳として難民事業相談窓口にて活躍されています。

サルマンさんは、アラビア語文学修士、イスラム学修士、アラビア語英語ペルシア語学士です。8年間の教育機関における勤務および10年間のアラビア語文学イスラム学の教育経験をお持ちです。講義、ガイダンス、カウンセリング、翻訳、通訳などをされています。2008年7月から現在まで、GCMT日本イスラム神学者同盟の事務局長を務められており、2007年から現在までブリティッシュインターナショナルスクールの校長を務めていらっしゃいます。

この学校は以前、海老名インターナショナルスクールと名乗っておりましたが、現在は綾瀬に移転しています。本日、サルマンさんが日本語で表現しにくいことは、通訳として、丸谷士都子さんにお手伝いいただきます。滝田先生、パネリストのみなさん、そして丸谷さんよろしくお願ひします。

滝田

裊さんありがとうございました。私は滝田祥子と申します。横浜市立大学の国際総合科学部で多文化共生論に関する授業をいくつか受け持っています。

私自身も、アメリカのカリフォルニア州に長く滞在したという経験の中で、日本に戻ってからはいわゆる帰国子女のような「日本に在住している日本人」という意識を持っています。そのため、「さまざまな文化の方々と一緒にこれからの日本社会を作っていきたい」という気持ちを強く持っております。裊さんとは、横浜市の「国際まちづくり」に関する審議委員会で一緒に過ごしたことをきっかけに親しくなり、もう15年近くのおつきあいになります。

私自身は、実は30年位前から横浜市の多文化共生活動に関わっております。1980年代初頭、私が大学4年生だった時、Y O K E (横浜市海外交流協会)が「世界の中の横浜、横浜の中の世界」というプロジェクトを立ち上げ、私もプロジェクトメンバーとして、横浜市に在住し国際交流活動に従事している定住外国人の方にインタビューした経験があります。20代の私がインタビューした中で、衝撃的でずっと心に残っている言葉があります。ちょっと大柄なアメリカ人の女性だったのですが、「日本では洋服を買うのが難しい。日本が国際化するというのは、私のような体型の人でも、洋服を買いたいと思えばどこの洋服屋さんに入っても普通に買えるという状況ができることではないですか？」と言われました。その当時は今よりさらに、日本社会の中で「普通」とか「当たり前」というものの幅が狭かったのです。「普通」や「当たり前」の幅を広くすることができないのか？そんな問題意識を持つようになりました。

その後、アメリカに留学し、社会学の博士号をとりました。その時期、1990年代のアメリカでは、いわゆるマルチカルチャリズムや、多文化共生が声高に主張されていきました。アメリカ社会が他者に対して開放的であり、多様性を生かしながらアメリカを作っていこうという気風が一番高かったころだと思います。

日本に帰国したのは1998年でしたが、そのころの日本も以前と比べるとある程度多文化共生が浸透しており、神奈川県事業として外国籍県民会議が設立されたり、川崎市事業として外国人市民会議が設立されたりし、それぞれの地域社会に住む外国出身の方たちとともに、自分たちの社会を作っていこうという気運が非常に盛んな時期でした。残念なことです。それから15年ほど経過した現在では、様々な理由から、日本社会がまた少しずつ閉塞的な方向に向かってきているような気がします。

本日の外国籍県民フォーラムでは、日本社会の中で暮らし、みなさんと同じように毎日をご過ごしている宗教の異なる人たちが、どのような日常生活を送っているのか、その方たちにとっての「普通」と日本社会の「普通」に違いがあるのか、人間としての普遍性や共通性に基づき、人間としてどのように生きていくのか、そして、宗教的なバックグラウンドによる違いなども含めて、どうしたら私たちがともに生きていく神奈川県をつくっていけるかということを考えながら、みなさんにこのフォーラムを聞いていただきたいと思います。

最初にパネリストのみなさんに簡単に自己紹介をしていただいた後、20分程度もう少し詳しくお話していただきます。その後、会場のみなさんからの質問の時間がありますので、このフォーラムを聞きながら、自分だったら何を聞きたいかを考えていただければ幸いです。

それではまず、尹さんからお願いします。

尹

アニョンハセヨ。私は尹卿恵（ゆんきょんへ）と申します。「日本語が上手ですね」とよく言われますが、日本語ぐらいしか喋れません。私は1961年に京都で生まれました。

「在日コリアン」「韓国・朝鮮人」「旧植民地出身者」など、自分のバックグラウンドを紹介する際にいろいろな紹介の仕方がありますが、私は「在日コリアン」という言い方が一番じっくりくるかなと思い、よく使っています。というのも、私たちの民族はまだ北と南に分断されたままになっているので、朝鮮人というの、韓国人というの自分の中にじっくりこないところがあります。

父は1世で、母は京都で生まれた2世です。両親ともに、敬虔なキリスト教徒の家庭に育ち、私も生まれる前から教会に通うという環境の中で育ちました。1世の父と2世の母でかなりアイデンティティが違う中で育ちました。

1世の父は韓国人として誇りを持っていました。2世の母は、戦争中に朝鮮人というだけでも差別を受け辛いのに、祖父が在日朝鮮人教会の長老（役員）で、礼拝の説教（聖書の話し）をしたことが、民族扇動罪にあたり、治安維持法違反で捕まり、拷問を受け投獄されました。その間、祖母とこどもだった母たちは「非国民」「売国奴」と言われ、石を投げられたという忘れられない辛い記憶があります。なので、私には「隠せ」と言いました。私の民族のアイデンティティは『誇りを持って』と『隠せ』の間で揺れ動きました。

名前も2つあり、通称名（日本名）、韓国名がありました。日曜日は教会に行き、在日の教会なので韓国名を名乗り、韓国語を聞き、韓国の讃美歌を歌います。民族だけでなく、家の宗教が自分のアイデンティティの成長に大きく影響しています。

このフォーラムで登壇してほしいというお話をいただいた際、「宗教と文化と生活」は私にとっては本当に切り離せないものだと感じました。自分は、何人であっても、どんな宗教を信仰していても、いきいきと、与えられた命を大切に、そして隣にいる人の命も大切にして生きていきたいと思いました。

紆余曲折があって自分探しをする中で、様々な民族の人々と出会ったり、韓国に留学して言葉や文化を学んだりしましたが、日本で「いつ韓国から来たんですか」と言われるのと同じように、韓国では必ず「日本人」と言われました。もっとひどい言い方もされました。日本人を悪くいう言葉も浴びせられました。私にとっては、やっと行くことができた自分の祖国なのですが、「日本人」やもっと悪い言い方の日本人という言葉聞いた際、私は「日本人じゃないです」と言いました。しかし、その時すごく寂しい気持ちになりました。それは、自分自身が、祖国に居場所を見いだせない「私は何人？」という寂しさと、日本人を悪く言う言葉に「私は違う！」と言いながら、日本で一緒に育った日本人の友だちに背を向けたような後ろめたさを感じたからです。そんな経験から、自分にとってはこの日本という場所が自分の一番の居場所じゃないかと思って今まで生きてきました。このような私ですが、よろしくお願ひします。

滝田

次は新潟さんお願いします。

新潟

みなさんこんにちは。私の旧名はシンカムタン・レックです。ラオス出身で、1995年4月

に日本国籍に帰化し、今は新岡史裕と申します。海老名市に住んでいます。2005年に定年退職し。現在はNPO法人在日本ラオス協会事務局に所属しています。公益財団法人アジア難民事業本部の外国籍県民インドシナ難民相談窓口の担当、神奈川県内の外国人児童生徒教育指導協力者、ラオス語やタイ語通訳などを行っています。

1975年、昭和50年のベトナム戦争終結後、インドシナ3国、ラオス、ベトナム、カンボジアは、平和宣言により新しい体制に移行しました。その後、インドシナ3国難民が発生しました。昭和50年に日本政府はインドシナ3国の難民の受け入れを開始し、私は定住のため家族4人で来日しました。最初は兵庫県の姫路に行きました。姫路定住促進センターに3カ月間入所して日本語と生活習慣を学びました。退所後は、神奈川県綾瀬市で就職しました。後ほど在日ラオス人の生活、インドシナ難民定住相談窓口、外国人児童生徒教育協力者、そしてラオス文化センター活動について説明したいと思います。どうぞみなさんゆっくり聞いてください。お願いします。

滝田

次はサルマンさん、自己紹介をお願いします。

サルマン

みなさんこんにちは。サルマンです。日本語は上手ではないので、間違えたらごめんなさい。パキスタンに1974年に生まれて、お父さんはインド人です。大学でアラビア語学や文化などを勉強し、1998年に3か月間日本に来ました。日本の文化や国が本当に良かったので、1998年から今まで日本にいます。そのため、母国の文化などをいろいろ忘れていきます。

いろいろな勉強をしているので、頭が混乱しています。今まで働いたところはみんな英語を使っていたので、日本語を使うチャンスもあまりなかったです。そのため日本語は上手ではありません。できるだけ日本語でお話させていただきます。

1998年から2007年まで、東京の日本イスラム文化センターで働いていました。2008年に日本で子どもが生まれました。生まれる前に考えたのは、自分の子どもの勉強はどこなのかということです。日本の学校に入ったら、自分の国の言葉を勉強するのが難しくなります。母国では英語を使うので、向こうの大学にも入れません。学校のことを考えた結果、2007年に30人が勉強する学校を作りました。自分の子ども2人もその学校で勉強しました。本当は自分の子どものために学校を作ったのですが、現在はインド、パキスタン、日本、オランダなど、いろいろな国の子どもが通っています。どうぞよろしくお願いします。

滝田

簡単な自己紹介が終わったところで、これから本題に入りたいと思います。

みなさんが日本でどのように日々生活し、どのような困ったことがあったかなどを会場にいるみなさんにお伝えいただきたいと思います。では尹さんからお願いします。

尹

私は父の実家の仕事の関係で、小学校に入る前から小学校2年生ぐらいまでの約5年間、東京の亀有に住んでいました。その後また京都に戻ったのですが、その時、京都は東京より閉鎖的だなあと感じました。私は民族学校ではなく、地域の小学校に通い、中学校、高校と進学し

ました。その中で、やっぱり人と違うということが一番つらかったです。

「韓国人は嫌い」とか、「朝鮮(人)帰れ」などと言われることもありましたが、自分が韓国人であることが嫌だと思ふことはあまりありませんでした。日曜日には、避難所というカシエルトナーのような教会に行き、そこでは「ありのままでもいいんだよ」と言われました。でも、私は「自分が何人なのか」という葛藤がある中で、自分に自信も持てず、本当に夢のない子どもに育ちました。

それでも中学生の時、好きな人ができました。相手も同じ気持ちで、初恋でした。ところが、友だちもその人が好きで恋敵になりました。そうしたら、その友だちの友だち、昔の長いスカートをはいた人たちにトイレに連れていかれ、なんやかんや言われた最後に、鏡越しに「あんた一、チヨーセンのくせに、人、好きになったらあかんでえ」と言われました。それが一番痛かったです。

教会や家では、キリスト教は愛の宗教だよ。自分を愛しましょう、隣人を愛しましょう、と教えられて育ってきたのに、人を好きになってはいけないと言われた時は本当に「出自」を恨みました。そして、思春期の私は、もう生きて行けないと思いました。

「朝鮮のくせに...」、「くせに」という言葉は本当にいやな言葉です。女のくせに、男のくせに、子どものくせに、その「くせに」という言葉は本当に曲者だなと思います。

国や民族が違うと人を好きになってはいけない、というのが自分のアイデンティティを探す中で一番辛いことでした。

自分を振り返ると、キリスト教と関わるが多かったと感じます。私は教会の牧師先生のすすめで保育士の道を進むことになりました。京都東九条の希望の家カトリック保育園で仕事を始めました。被差別部落に隣接する在日コリアンの多住地域で、日本人、在日コリアン、お父さんが被差別部落出身、お母さんが在日朝鮮人などの子どもたちがいました。

90年代後半、結婚を機に川崎に引っ越し、青丘社桜本保育園で働きました。そこも在日コリアンが多い地域なのですが、80年代半ばから、いろいろな国の子どもがどんどん増えていきました。初め来た子どもはベトナム、その後、フィリピン、中国、台湾、南米など、どんどん多民族・多文化になりました。言語も、タガログ語、北京語、ポルトガル語、スペイン語など、多様な言語が増え、そのたびに子どものお母さんに通訳してもらっていました。お母さん同士の通訳をお願いしたこともあります。そうしていると、自分たちのお母さんたちが苦労していた言葉と、新しく日本に来たお母さんたちが苦労している言葉が重なってくるのです。

在日コリアンの私は、日本で生活していく中で大変なことはさほどありませんが、制度的な問題や、就職ができなかったことはありました。私が保育士専門学校を卒業し、保育士の夢がいよいよ実現しようとしたとき、京都市の公立保育園の保育士募集要項に、こんな文面が書いてありました。「...しかし、以下の者は採用試験を受けられない。禁固二年以上の罪を犯した者及び外国人」と書いてありました。私は何も悪いことはしていないのに、「外国人及び禁固二年の罪を犯した者」は採用されない。一緒に学び卒業する日本人の友だちは公立の保育士の道が開かれ、外国人の私は門前払いとはこれから先どうやって社会に出て社会人になっていけるのかと絶望的になりました。

また、社会に出て今まで、納税の義務は果たしてきましたが、外国人には、未だに参政権がないので、私の両親も、私も、私の子どもも、生まれてから一度も選挙に参加することができ

ません。

滝田

では、新潟さんお願いします。

新潟

先ほどの自己紹介でご紹介したことを、1つ1つ説明していきたいと思います。

インドシナ難民定住相談窓口は、厚木合同庁舎の1階で毎週水曜日9時から5時まで開設しています。主な相談内容は、1つは市役所の書類申請の関係で、2つ目は事務手続きの書類の取得方法です。例えば、市県民税課税証明や出生届などは30年経ってもまだ覚えていない人が多いです。みんな「証明書」という言葉はよく知っていますが、市役所の窓口では「何の証明書ですか」と言われてしまいます。相談窓口では、相談者が市役所へ行く前に電話してもらい、相談内容に応じて対応します。

また、入管の関係では、在留資格更新、永住申請などの書類を記入しなければなりません。相談者は、自分の名前や住所くらいは書くことができますが、永住申請の際には自分生まれた時からの履歴書を書かなければいけません。これが大変なのです。

さらに、病院の関係の相談です。病院の診察は予約せずに行くと待たされてしまうことがあります。予約をすれば時間どおりに診察してもらえますのですが、言葉が分からないため、私に病院に連絡してほしいという相談があります。また、内科、小児科、皮膚科など、いろいろな科を何度か受診すると、外国人は混乱してしまいます。私は2006年から相談員を務めていますが、このような相談が1日約4、5件電話や直接来所によりやってきます。

次は、外国人児童生徒協力者についてです。現在、綾瀬市、大和市、平塚市、伊勢原市、そして秦野市の小中学校に通っている児童生徒のために、生徒と父母の指導を約半年ほど行っています。また、ラオスの児童生徒の勉強を補助する国際教室、特別教室なども行っています。ラオス語を勉強したいという子には教えてあげたり、学年便りやプリントをラオス語に翻訳して親に渡したり内容を説明したりもしています。子どもは2、3年学校に通えば日本語が話せるようになりますが、親は片言のまま、早口で話されると理解できません。

最後に、ラオス人の生活についてです。ラオス人として登録されている外国人は全国に2,510人で、約半数の1,204人は神奈川県に在住しています。なぜ、神奈川県内の約半数が在住しているかといいますと、1980年から1996年まで大和定住促進センターがあったからです。大和定住促進センターは南大和市の南小田急駅南林間駅前の南大和小学校の隣にあり、私も通訳として勤務したことがあります。大和定住促進センターを退所した人は、大和市、綾瀬市、海老名市、厚木市、相模原市、平塚市、秦野市、藤沢市などに散らばっていきました。これらの都市には小中企業が多く、さらにセンターに近いので何かあった時に相談できます。

彼らにはあまり仕事がなく、世帯主は小中工場で働き、奥さんたちはパートタイマー、アルバイトとして仕事をしているので、大学に進学する子どもは少ないです。

そして、生活の中にさまざまな問題があります。例えば、親子のコミュニケーションです。親の日本語が片言であるため、子どもに日本語の読み書きを教えることができず、子どもは小中学校の勉強が進まないのです。さらに、世帯主であるお父さんも、定年前に会社を辞めたり、会社が倒産したりして職を失うと、次の仕事がなかなか見つかりません。そのため、5年程前

からさまざまな労働問題が発生しました。特に中途半端に仕事を辞めた人は、65歳で年金を受給しても生活苦しく、年金がゼロの人は生活保護に相談するしかありません。さらに、ホームシック、生活習慣病、パニック障害、うつ病などの問題もあります。

次は、ラオス文化センターの活動についてです。1965年ごろに元留学生たちが在日ラオス協会を設立し、2003年6月にラオス文化センター、2013年4月にNPO法人在日本ラオス協会を設立しました。ラオス文化センターは愛川町にあります。寺の代わりに文化センターに僧侶を迎え、年3回、1回平日で90日間滞在してもらいます。その間の交通費や生活費はすべて私たちが負担します。参加者はみんな、母国のラオスの日常生活や伝統すなわち仏教文化に従います。伝統行事では僧侶の存在が不可欠です。ラオスの伝統行事、年中行事と宗教行事は一緒です。行事は僧侶が先頭に立って実施します。ラオスの僧侶は精神療法士や社会福祉のような役割もします。

さらに、私たちは年中行事だけでなく勉強会も行っています。例えば厚生年金、国民年金、自賠責、任意保険、帰化申請相談などです。今年で12年目を迎え、今までにたくさんの日本の方々が私たちの行事に参加しました。ラオスと全く同じようにはできないため、少し形を変えています。例えば、ラオスのお正月は4月半ばですが、みなさんご存じの水かけ祭りは私たちはやりません。日本は寒いですし、子どもたちは親の真似をしますから。その他田んぼ祭りなど、今後も毎年行いますので、みなさんぜひ遊びに、見学しに来てください。以上です。ありがとうございました。

滝田

新岡さんありがとうございました。みなさん質問したいことなどあるかと思いますが、最初にみなさんのお話を伺ってから質問の時間とさせていただきたいと思います。では、サルマンさんよろしくお願いします。

サルマン(丸谷訳)

滝田先生、パネリストのみなさま、フォーラム部会のみなさま、本日はこのような貴重な機会をいただきありがとうございます。このように互いの日常生活や文化などについて語り合っ
て誤解を解いていく、そして平和と調和を促進するという機会はとても大切なことだと思います。

イスラムという言葉は、「神の意に従う」という意味のアラビア語です。そして、平和を意味する「サラーム」みなさんは挨拶で「サラーム」を聞いたことがあると思いますが、語源は同じです。イスラム教では、心の平和を得るためには、「神の意に従う」「神の規則に従う」とと教えています。

イスラム教は新しい宗教だと思われる方もいらっしゃると思いますが、アブラハムの時代から、神の意に従う多くの預言者が出現しています。ノア、モーゼ、イエス・キリストそして、モハメッドが最後の預言者です。イスラム教では、全ての預言者を尊敬するように学んでいます。イスラム教の人がモスクでお祈りをするのが印象的だと思いますが、崇拜やお祈りだけの宗教ではなく、人々が生活していくすべての行動規範をイスラム教では大事にしています。

イスラム教の教義には5つの重要な点があります。まず1つは信仰です。精神的なことです。

2つ目は神への崇拜です。3つ目は何を行うについても人を騙してはいけないということです。普段の生活でも、ビジネスにおいても騙すような行為はしてはいけないという教義があります。4つ目は社会生活です。正しい社会生活をする必要がある。そして5つ目が道徳・マナーです。これら5つの教義があります。最後のマナーとは、イスラム教徒は理由もなく人や動物を殺害してはいけません。これはとても大事な点です。

礼拝やお祈りは確かにとても大事なのですが、それより更に大事だと思われるのが最後の3つです。行いや道徳やマナー、これらをより大事にしています。

モハメッドが友人たちに「『貧しい人』とはどのような人ですか。」と聞くと、友人たちはこう答えました。「『お金や富のない人』そのような人を『貧しい人』といいます。」それに対して、モハメッドはこう言いました。「いくら礼拝に何度も来て、お祈りをかかさない人でも、例えば人に悪口を言ったり、人に危害を与えたり、お金をだましとったりした人であれば、どんなに善い行いをしている『貧しい人』として最後の審判では地獄に落とされる。」

イスラム教では、個人の生活の行いにとても重きをおいています。まず、知識を得ることです。男の人であっても女の人であっても知識を得るということは大事です。そして清潔にすること、正直であること、健康な生活を送ることです。身なりをきちんとし、たばこは吸わず、危険な麻薬などに手を出さない。このようなことを教えています。

イスラム教では、家族生活も大事にしています。私には妻がおり、子どももいますが、家族生活で一番大事なことは、親を尊敬するということです。男性にとって、第一に尽くすべきなのは、母親です。預言者は、「誰に尽くすべきか」と問われた際、第1に母親、第2に母親、第3に母親、第4に父親と答えたそうです。

今度は夫と妻の関係です。夫は家族の生活費はすべて面倒を見なくてはなりません。実は、私の妻はとても裕福な家から来たのですが、妻の両親が、結婚した娘に対してお金を援助しようと言った際、私は「自分に責任があるのでお金はらない」と言いました。

日本では、「成田離婚」という言葉があるそうですが、家族や夫と妻という関係はとても大事なものであり、妻は子どもの教育や、家の仕事全般を取り仕切る国務大臣のような役割を担っています。

次は子どもについてです。子どもには、正しく育てられ、教育を受ける権利があります。そして、それを与えるのは親の責任であり、子どもたちを道徳を守るきちんとした大人に育てます。そのために、親は出来る全てのことをするべきだと言われています。

イスラム教では、子どもを親が叩くことは許されていません。もし、子どもが火の中に飛び込みそうなときや、とても危険なことをするときには止めなければいけませんが、それでも顔を叩くことはしてはいけないのです。そして、男の子でも女の子でも、お金や物品をあげる際は、全く平等にしなくてはなりません。

イスラム教では、社会生活で大切にすべきは、親であり親戚ですが、隣人もまた大切であると言われています。隣人とは「隣に住んでいる人」だけではなく、たまたま隣に座っ

た人であっても、その人が座っている間は大切な間柄としてその人に尽くす必要があると言われて
れています。

例えば、家で料理を作っていて、すごくいい匂いが隣に流れていったとします。すると、も
う匂いがいっているので、必ず隣の人にはおすそわけをしなければいけないという習慣があり
ます。

イスラム教では、他の宗教も尊敬する自由があると言われていています。どのような宗教を信仰
している人であっても、贈り物をしたりします。

エルサレムの統治者であるウマールという人は、そこに住むすべての宗教的コミュニティに
自由を与えました。エルサレムに住むすべての人が信仰の場を奪われることがないように保障
しました。そして、ムスリムの裁判所で裁かれるのではなく、マイノリティのための裁判所を
設立したという例があります。

私は40年間イスラム教について勉強してきましたが、イスラム教の教えには、過激主義や
テロリズムなどを正当化する言葉は1つも出てきません。自爆テロなどの方法で人を攻撃する
ことは全く禁じられています。

コーランの中の言葉を引用しますと、1人の人間を殺すということは、すべての人類を殺し
たのと同じことである。1人の人間の命を救った人は、すべての人類を救ったと同じことであ
ると考えています。

滝田

お三方の話を一通り伺い、私の方で3つほど共通した論点に気づきましたので、まずはそれ
について各パネリストの方にお話いただきたいと思います。それから、パネリストの方同士、
お互いに質問したいことがあればお願いします。

お三方のお話の中で、重要な点が3つありました。1つ目は、新岡さんの、ラオスの伝統文
化は仏教の文化であり、その伝統文化を子どもたちに継承したり、コミュニティ内で共有した
りするために、伝統にのっとり行っているが、日本の気候に合わせて、寒い時期の水かけ祭り
はしないというお話です。日本社会の中で、自分たちの大事にしているものを変化させつつ維
持していく工夫をされていると思います。

サルマンさんのお話の中にも、イスラム教は、他の宗教に対しても尊敬の念を持って関係を
取り結んでいくという内容がありました。このように、自分たちのコミュニティ以外の社会、
ここでは日本社会の中で、自分たちの文化と日本文化とのバランスをどのように保っていくの
かというお話が共通して含まれていたと思います。

先ほどのサルマンさんのお話には出ませんでしたが、サルマンさんは2011年3月11日の東
北の震災の際に、ボランティアとして東北にカレーライスを作りに行かれたそうです。ここに
いらっしゃる方たちは、みなさん震災以降も日本に残ることを選んだ方たちなのです。震災の
後、自国に戻られた方も多く、また、さらにその後日本に戻って来た方もいらっしゃいます。
そのような中で、パネリストのみなさんは困難なときに、日本社会に手を差し伸べながら、自
分たちができることをしてこられました。

これまで、日本社会の中で、自分たちの宗教、文化や伝統とのバランスをどのようにとりな

がら生活されてきましたか、というのが私からの1つ目の質問です

2つ目は、これも今のお話には出てきませんでしたが、みなさんのプロフィールを拝見すると、例えば、サルマンさんはイスラム文化センターで心のカウンセラーをしていたことがあります。それから、新潟さんもラオス人コミュニティでホームシックや鬱が問題になっているというお話をされていました。

私は、2年前に横浜市の仕事で、横浜市に在住している24人の永住外国人の方にインタビューをしました。その中で、日本に定住している永住外国人の間でも、鬱やドメスティックバイオレンスなどの心の問題が深刻であることを知りました。これらの問題は、おそらく尹さんの在日韓国朝鮮人のコミュニティなどでも見られたのだと思います。

パネリストのみなさんのコミュニティの中では、どのような心の問題が深刻であり、また、それに対してどのように対処しているのかというのが2つ目の質問です。

3つ目は、子どもの問題です。最初の尹さんのお話で、お父様はクリスチャンであり、韓国人であることに誇りを持ってと言い、お母様は、日本社会で暮らしていく中でクリスチャンであるということで非国民扱いをされた経験から、韓国人であることを隠せとおっしゃったとありました。この2つの相反するメッセージに非常に混乱されたと思います。

尹さんは2世代目、3世代目に属するため、ご自身の子ども時代の経験をお話いただきましたが、1世代目の新潟さん、サルマンさんは日本社会で子どもを育てていく側です。この2つの違う立場から、日本社会で子どもを育てていくにあたり、父母としての体験や、紹介したいエピソードがあればお話を聞きたいと思っています。

質問を整理しますと、1つ目は、日本社会をはじめとした、自分たちとは異なる社会、宗教を持つ人たちとの関係で、気をつけていることや心を配っていることがあるか。2つ目は、各自が属するコミュニティの中で、心の問題として特に問題となっていることがあるのか、またそれをどのように解決しているのか。3つ目は、日本社会で子どもを育てるにあたり、お話しただけの経験談があれば聞きたいということ。

では、尹さんからお願いします。

尹

1つ目の、日本社会とのバランスや宗教についてです。私は、自分自身を探すために、大学の神学部で曾祖父、祖父、父親から受け継いできたキリスト教を勉強したり、祖国の言葉を学びに行ったりしました。日本に戻ってきたときに気づいたことは、自分を知ることは日本社会を知ることだということです。自分の人生において、私が主人公であると同時に、私がいるこの社会がもう1つの主人公であり、この日本がどのようなところなのかが見えてきました。

今、この会場で、みなさんが私たちを見てくださっていますが、私たちもみなさんのことを見ています。先ほどから熱心に聞いてくださる方や、寝ていらっしゃる方、いろんな方がいらっしゃいますが、このような関係が本当に大事だと思います。

宗教について、私はクリスチャンですが、聖書の中に天国が出てきます。先ほどサルマンさんのお話の中に「地獄に落ちる」という話もありましたが、みなさんは天国についてどのように思われているのでしょうか。聖書には、天国は人と人の間にあるとされています。つまり、天

国を創るためには、例えば私と新岡さんが愛し合わなければ天国はできません。この関係が社会ではないかと思います。天国を創るためには、社会をきちんと愛さなければいけないのだと思います。

2つ目の心の問題について、親が子どもをどのように育てていくかは、国、民族、宗教などは関係なく、とても大事なことです。現在、私の働いているY M C A つるみ保育園は生後8週目からの子どもが入園します。つまり、2015年生まれの子どもたちと一緒にいると、今の社会がよく見えてきます。現在、一番深刻な問題は貧困です。貧困の問題は、外国籍の家庭に、ものすごくおおきくのしかかってきています。保育園でも、なかなか入園できず、やっと仕事を探すと理由で入園できた家庭でも、横浜市の認可保育園では、3か月以内に仕事が見つからなかったら「退園」という制度があります。ですが、南米やフィリピンからきたお母さんたちが一生懸命探しても仕事はなかなか簡単には見つかりません。働きたくても働けないのです。そして、貧困のため、子どもたちにとって一番大事な保育や教育が受けられなくなっています。

このような問題をサポートしていくためには、みんなで募金などの具体的なアクションを起こしたり子どもを取り巻くネットワークを幅広く作ったりしていくことが急務です。そうしなければ、一つの家庭の一人の子どもが、ありのままに成長することができないということを痛感しています。

私は、心の問題で壊れていくお母さんたちにもたくさん出会ってきました。その中には、外国にルーツを持つ方だけでなく、お母さんがアイヌ民族の方で、お父さんが沖縄の方という家族もいました。愛し合って結婚し、子どもが生まれましたが、何かがある度に大きな喧嘩になります。そして家庭内暴力や罵り合いになります。その背景には、夫婦それぞれが今までに受けてきた日本社会の中での差別があります。最終的に、両親ともにぼろぼろになり、お母さんと子どもはシェルターに避難しました。私は、お父さんとも話をしましたが、本当にいい家族、いい家庭をつくりたかったがお互いに傷つけあってしまい、うまくいかないと言っていました。

貧困について、夏休みに毎日近くの児童館に来る小学生の話を聞いたのですが、他の子どもはお昼に家に帰ってごはんを食べた後また戻ってきたり、お弁当を持ってきたりしているのに、ある子どもはお昼ごはんを食べている様子がなく、よく聴くと、何日も食べないときもあると、空腹が満たされない自分のからだを一人で必死に守ろうとしていたそうです。この子どものからだを心の空腹は、どのように満たされることが良いのでしょうか。現代の「豊かな国日本」の貧困と子どもの現実は、とても深刻です。

新岡

私は、日本で暮らし始めて今年で36年目ですが、外国人が日本で暮らし、日本社会に馴染んでいくにあたり、自国との違いを感じることはたくさんあります。東南アジアと日本は、アジアという括りでは同じですが、実際に比べてみると随分違います。

主な違いは、やはり環境です。例えば、お祭りをまるきりラオスのやり方と同じようにしようとすると、数百、数千の人が参加できるグラウンドのような場所が必要です。そして、ラオスでは少なくとも三日間は連続でお祭りをやりますが、日本では近所迷惑になるため終わる時間が決められています。日本は規則がきちんとしており、本日のフォーラムのように4時までと時間が決まっていればその時間で必ず終わってしまいます。ラオスの習慣では、時間は関

係なくお互いに話が終わるまでずっと続けます。

家庭内についてはあまり違いはありませんが、例えばラオスの結婚式では、連日披露宴パーティをしても近所迷惑や騒音をお互いにまったく気にしません。このような点は全く違います。

2つ目の心の問題では、先ほど私はホームシックなどについて話をしました。私は日本に入国して36年ですが、難民としての入国者は、短い人でも20年以上が経過しています。ある人は、30年1回もラオスに帰国したことがありません。理由のひとつは、身内に連絡がとれないからです。ラオスの親戚兄弟や両親は亡くなっており、他の兄弟はアメリカやフランス、オーストラリアなどに行ってしまいました。このような人たちは、ホームシックで、心はずごく寂しいのではないかと思います。

アメリカに親がいる人もいます。しかし、私たちのように日本政府が受入れた難民で、永住資格を持っている人でもなかなかアメリカ入国ビザを取ることができません。アメリカにいる親戚にしっかりと身元証人になってもらわないといけません。現在、ラオスやタイはお互いに再入国許可証で行き来することができますが、他の国はまだ難しいです。このようなことがあり、みんなホームシックになります。

私が日本に帰化した理由は、再入国許可証では、例えば急にタイなどの他の国に行くことが難しいためです。そして子どもたちのためでもありました。娘が短大を卒業し、日本で就職活動を行うにあたり、様々な問題予想されたからです。例えば、就職試験で10人ほどがリストアップされた際、うちの娘がラオス名の場合、大手の会社は赤い線を引くでしょう。それを考えた娘が、「お父さん、帰化申請しないと私は就職できないんじゃないの。」と私に言いました。私が難民事業本部に相談すると、「難民はちゃんと日本政府に受け入れられています。どこの会社でも理解してくれますよ。」と言われました。しかし、娘は就職できず、最終的に知り合いの社長さんの会社を紹介してもらいました。

息子は、中学2年生のとき、家を出る前に漢字の名札を胸につけていました。私が誰の名札なのか尋ねると、友達の名札だと答えました。自分の名札はポケットに入れていました。なぜ自分の名札を付けないのか尋ねると、自分の名札はカタカナで、カナカナの名前はクラスの40人の中で自分だけであるからと答えました。私がお前はラオス人だろうと言うと、息子は「自分がラオス人であることは理解しているが、カタカナの名前がいじめにつながるのでは」ということを心配している。」とっていました。

このようなことがあり、家族で決心して帰化しました。私たちは難民として日本に定住し、周りに親も親戚もいません。家族4人で生活するために、夢中で仕事をして収入を得ています。相談を受けていると、どのような問題でも言葉が話せるかが関係しているように感じます。以上です。

滝田

ありがとうございました。ではサルマンさんお願いします。

サルマン(丸谷訳)

3つの質問に答える前に、先ほど話にでました、東北の震災のことをお話します。震災が発生した際、私の家族は赤ちゃんが生まれるということで、ちょうどパキスタンに帰っていました。私は、ガソリンが手に入らなく、仕事もないので、帰国しようかとも考えました。しかし、

ここ日本は私の家で、もしそこで人が困っていたらどうするべきであるのか、私はその人のために何かしなくてはいけないのではないかと思いました。

私は、すぐに海老名のモスクでミーティングを開きました。イスラム教の人も、そうでない人も一緒になって考え、25回くらい東北を訪問しました。実際、私たちはとても怖かったです。福島を通るときは、車の窓を閉め、マスクをつけていました。最初に東北に行ったのは震災のすぐ後、2週間後くらいの時でした。もし、家で父親が病気で寝ていたら、放っておくことができないでしょう。これと同じように、ごく自然なことをしたまでです。

これは、イスラム教がどのようなものかを証明するいい機会であったと思います。日本に住んでいない人も、海外から駆け付けて感謝してくれました。アメリカから来たある人は、ご両親が長崎に住んでおり、自分は助けに行くことができなかったが、あなたが行ってくれたと涙を流して喜んでくれました。

隣の人の領域に口出しをするということは、とても大きな問題を触発します。そのため、私たちは自分の領域に留まるようにしています。これは宗教に関しても同じで、ほかの宗教に口を出すことは、慎んだほうがいいと思います。

よく誤解というものが発生しますが、これは、お互いをよく知らないために誤解をしてしまうのです。誤解をしないためには、一緒に話し合い、いろいろなことを討議したりする機会が必要です。

1998年当時、私は日本イスラム文化センターから研究に来てほしいという要請を受けてカナダから来日しました。日本に来て1カ月が経ったとき、家を借りようと不動産屋に行きました。日本に来て初めて覚えた言葉である「入っていいですか？」と私が言うと、不動産屋に「なにもないよ、なにもないよ」と言われました。

その時、私は心の痛みを感じました。私はパキスタンではとても大きな家に住んでおります。祖父が3,000平方メートルの家に住んでおり、そこから父が譲り受けた1,000平方メートルの家に住んでいましたが、そのときに受けた傷はとても大きなものでした。

このような辛い思いもした一方、とても親切な方もいらっしゃいました。イスラム教の方ではないのに、お義母さんが家を持っているということで、すべて書類も整えてくれて、この家に入りなさいと言ってくださいました。

この国の人はいい人、悪い人だとか、この宗教はよくてこの宗教は悪いというようなラベルをつけることはできないと思います。

例えば、ボトルの外見だけを見るのではなく、中身が何なのかを見ることが大事です。人であっても、外見でいい身なりをしているからいい人に違いないということではなく、その人と話をしてどういう人なのかを知ることが大事だと思います。

日本で暮らしていて一番心配なのは子どもたちの教育です。私の家族はほとんどがパキスタンまたはカナダに住んでおりますので、教育をどのようにしたら良いかを考えますと、日本の学校はとてもいいです。躰がよく、規律が保たれています。ところが、日本の子どもたちは自信がないのです。私も教育畑におり、そういう目から見て、日本の学校はとてもよいのですが、やはり、いろいろな人と出会い、人に慣れて自信を持つことが必要だと思い子どもをインターナショナルスクールに入れました。

子どものことで、次に心配だったのが言葉です。カナダやパキスタンに住む親せきはみんな

英語を話します。英語が話せないことで、おじいさんやおばあさんなどとコミュニケーションがとれなくなり、家族との絆というものが壊れてしまうことをとても心配しました。なので、みんな一緒に暮らしていくということが大事だと思います。

滝田

ありがとうございました。パネリストのみなさんの中で、他のパネリストの方に聞きたいことがあるという方はいらっしゃいますか。では尹さんお願いします。

尹

サルマンさんにお伺いします。学校についてなのですが、私は食文化もとても大事だと思っています。在日コリアンの場合は、言葉はだんだんとなくなってしまいましたが、食文化は残ります。食文化はやはり強いと思うのですが、サルマンさんの学校では給食ですか、それともお弁当持参ですか。食事はどうなっているのかなと思いました。

サルマン（丸谷訳）

とてもいい質問をしてくださってどうもありがとうございました。私の学校の子どもたちはお弁当を持ってきます。そこで気がついたのですが、片親が日本人であったり、日本人の家族がいたりする生徒は、とても栄養のバランスがとれたお弁当を持っています。子どもたちが、イスラム教に則ったハラールのお弁当を持ってくるかをチェックするためときどきお弁当を覗いていますが、日本人の家族がいる子は本当に健康にとってもいいお弁当をもってきます。

滝田

では、これからフロアの方との質疑応答に移りたいと思います。

司会

では、これから 10 分間の質疑応答の時間に入りたいと思います。質問のある方は挙手にてお願いします。またお名前、ご所属、本日の感想をお話いただき、そのあとに質問していただければと思います。質問や、本日の感想がある方はいらっしゃいますか。

丸谷

すみません、先ほどサルマンさんのお話の訳し間違いがあったので訂正します。先ほど、「ハラールのお弁当を持ってくるかをチェック」していると申し上げましたが、「子どもたちがちゃんとバランスのとれたお弁当を持ってくるかをチェック」していたそうです。

司会

では、ご質問のある方はいらっしゃいますか。

質問者 1

この企画に関わっている斐と申します。神奈川外国すまいサポートセンターという、外国人のすまいに関する不安を解決するための団体を立ち上げ、現在では生活のすべての相談を受け

ています。私自身が朝鮮学校の出身で、南国の 코리아 で問題が起きると、子どもたちがすぐいじめに逢うという非常に嫌な思いをずいぶんしてきました。

そこで質問ですが、テロ事件の後、サルマン先生がいらっしゃる学校に対して、子どもたちが嫌がらせを受けたり、先生の周辺の人たちが嫌な思いをしたりしたということはあるのでしょうか。そのようなことがあった場合、学校でのケアや、周囲の人たちのサポート体制はどのようにしたのかについて、お話を聞かせてください。

サルマン（丸谷訳）

テロ事件が起こったとき、子どもたちはもちろん何が起きているのかわかりませんでした。中学校 1 年生以上の子は周りから情報を得たりはしていましたが。特に、I S I S の事件があった後は、イスラムに対してなにか嫌がらせがあるのではないかとということで、大和警察がパトロールをしてくれました。特に何かあったわけではありませんが。

そして、イスラムの活動の一部として、総理大臣に手紙を出し、I S I S のやっていることは、イスラム教とはなんも関係のないことだと訴えました。このことについても、何か事件が起こったということはありません。

司会

ありがとうございます。他にご質問ありますでしょうか。

（質問者より挙手）では、お願いいたします。

質問者 2

パク・ヨンチェルと申します。在日コリアンの 3 世です。自己紹介も兼ねて、本日の感想を申し上げたいと思います。

私は、愛知県出身で、東京都立大学で小沢文久先生、在日朝鮮教育プランを語られた方に学びました。90 数年に多文化共生の教育論を川崎市からスタートしたと記憶しております。あーすフェスタが 16 年間継続しているので、今後も継続していただきたいと思います。今はたくさんの方が参加していますが、このフォーラムに足を運ぶ方が少ないように感じます。来年は、いろいろな企画をしていただいて、みなさんに参加していただければと思います。

私は 47 歳で、尹さんより何歳か年下になります。尹さんに、川崎のふれあい会館や川崎市の外国人の現状をお話していただければと思います。よろしくお願いいたします。

尹

私は今年 54 歳で、ちょうど 50 歳で青丘社桜本保育園を退職しました。先ほど申しましたように、現状は子どもと貧困の問題がとても大きいです。私たち 在日 1 世 2 世も貧困で苦勞をしてきましたので、現在の子子どもたちが、十分な心とからだの栄養を与えられて健やかに育つことと同時に、貧困により勉強することができないということのないよう、子どもの学習保障をすることが責務だと思います。

お金がない、食べるものもない、塾に行くこともできない、このような状況では、子どもたちが将来の夢を持つことができません。両親が仕事で忙しかったり、両親の日本語が堪能でなかったりなどの理由で家庭内で教育が受けられない子どもたちがたくさんいます。また、自分の部屋も、机も、ベッドもない環境の中で、勉強に興味を持ったり、集中したりすることがで

きるでしょうか？

ふれあい館では、外国に繋がりのある中高生と生活保護世帯の中高生に、週に2回、大学生の講師を中心に、「学習サポート」をしています。子どもだけでなく、そこに講師として関わる大学生たちも、共同学習者という形で学んでいきます。私は、この関係はとてもよいと思います。ただ勉強を教える、教えてもらうだけの関係ではなく、学生たちは、なぜこの子たちが日本にいるのかについて考えたり、帰りに家まで子どもを送りながら、子どもの状況も少しずつ知ったりしていきます。関係性を築くことにより、子どもが今どのようなことに悩んでいるかを直接聴くこともできます。このように、様々な関わりとサポートが一人の子どもの成長を見守り育んでいくことがとても大事だと思います。カウンセラーの役割をする人や、すまいサポートセンターのように困っている人に対応してくれる人がいることが大切だと思います。

ある学生から、「多文化共生ってファンタジックな話」と言っている人がいたという話を聞いた時、私は多文化共生が危うくなっているのかなと思いました。しかし、例えファンタジックであっても、子どもたちが夢を持ったり、人と出会ったりしていく中で、この日本社会が変われば、きっと子どもたちの未来も変わると信じています。

司会

ありがとうございます。お時間も短いので、あと最後の1人とさせていただきます。ではよろしくおねがいします。

質問者3

横浜市立の中学校で教員をしております福山と申します。今日お話をあまり伺えていないのですが、質問させていただこうと思います。

神奈川県横浜市で暮らし、教壇に立つという形で私は社会と関わっているのですが、本日教育という同じ舞台に立っている方々のお話を聞き、どのようなサポートができるのかとか、どのようなしていったらよいのかと思いました。普通の中学校の中にももちろん外国籍であったり、外国にルーツがあったりする生徒がいるのですが、彼らに対して「こういうことが必要」だとか、「こういうサポートがあると嬉しい」というようなことがあれば教えていただければと思います。よろしくお願いします。

滝田

では、新潟さんお願いします。

新潟

ラオスの場合は、他の国に比べると日本に住んでいるラオス人が非常に少ないです。また、散らばって住んでいるので、ラオス人にとっての交流地域はラオス文化センターしかありません。もし興味があれば、いつかラオス文化センターに遊びに来ていただき、ラオスの子どもたちと交流していただければありがたいなと思います。

司会

ありがとうございます。質問していただいた方々ありがとうございました。これで質疑応答

の時間を終わらせていただきます。

では、滝田先生にまとめの言葉をいただきたいと思います。

滝田

私のまとめの前に、サルマンさんはさっきの質問に答えたいことはありますか。

サルマン（丸谷訳）

私は、日本で住んでいる限り、子どもたちに日本語を学んでほしいと思っています。私たちの学校では日本語を教えています。家では親が日本語を話せないため、周りの会話はすべて英語です。そのため、子どもたちの日本語がなかなか上達しません。放課後などに日本語のサポートをしてくれる方がいらっしゃったらとてもありがたいと思います。

尹

私もひとつよろしいでしょうか。今、「どんなサポートが必要ですか」とおっしゃっていましたが、キリスト教では、愛というものを大事にしていたマザーテレサという方が、「愛の反対は無関心である」とおっしゃっていました。まさに「関心を持つ」ということが始まりなのだと思います。

また、学校の先生は、子どもたちに朝のあいさつをされる時に、コリアンの子供がいたら「アンニョン」や「アニョンハセヨ?」、イスラムの子がいたら「サラーム」など、できれば一言あると良いと思います。自分の国の言葉というのは安心できますよね。あいさつの時に一言でいいのです。「アンニョン」というのは、安心の「安」に丁寧の「寧」と書きます。日本語にも安寧ってありますよね。あいさつを自分の母語で交わしたら、どれだけ子どもの心は楽になるでしょう。私も、保育園のブラジルの子供にも、朝、「ボンジーヤ」とあいさつをしていたら、その子供はまだ2歳でしたが、「ボンジーヤ」と私を見るたびにと呼んでいました。そして、今では、毎朝お父さんと一緒に、「ボンジーヤ」とにこやかにあいさつしてくれます。あいさつというのはすごく大事だと思うので、ぜひお願いしたいと思います。

滝田

では、簡単にまとめたいと思います。日本には、本日のパネリストのみなさんのように、私たち日本人があまり知らない外国の文化や習慣や風習を持ちながら、日本社会の一員として生活していらっしゃる方がいらっしゃいます。このような方たちが、日本の社会をどういう風に見ながら、どんな風に暮らしているのかを知ることは、日本の社会がものすごく豊かになるきっかけだと思います。

尹さんのお話の中で、「若い人が多文化共生なんてファンタジーだと言っている」というお話がありました。もしかしたら、今はそんな風に見えるかもしれませんが、しかし、サルマンさんが日本を「マイハウス」と言って下さったように、私たち日本人自身が、「ここが私の家だ」という意識を持ち、自分の家にはいろんな人が住んでいて、彼らと一緒にマイハウスを作っていくのだという意識が重要だと思います。「マイハウス」をより良いものにするために、マイハウスの中で困っている人を少しでも手助けするという考え方が多文化共生ではないかと思っています。

本日のシンポジウムのタイトル、『かながわに暮らす外国人から多文化共生を考えよう 互いの理解・尊重からはじまる多文化共生』を、サルマンさんがおっしゃったことと関連づけて考えると、私たちが大事にしているものをお互いに尊重しあいましょうということになります。それと共に、尹さんがおっしゃった「天国というのは、人と人との間にある」にあるように、人との間を取り持つというのも非常に大事だと思います。

大事なことは、相手がどのように考えているかを知ると共に、その考えを否定しないということだと思います。否定する前に、なぜ相手がそのように思ったのかを尋ねること、そこが理解のはじまりだと思います。

しかし、極端な貧困や、仕事がない状況、家が探せない状況では、お互いが理解しようという気持ちが持てなくなってしまいます。本日のパネルディスカッションでは、あまり深く貧困や就職難についてお話することができませんでしたが、先ほど申し上げたように、私がインタビュー調査をしたときに出てきた問題はこれらのことなのです。

新岡さんのお話の中にもありましたが、リストラや何らかの理由により一度仕事なくなってしまうと、次の仕事を見つけるのはものすごく難しいです。日本に1世として入国し、そのまま永住者として長く生活し、帰化して日本人として暮らしていくというステージが神奈川県にいる外国につながる方たちの中で始まっている中で、仕事を失うということ、仕事を見つけることができないということは切実な問題です。

このような差し迫った状況を抱えている人に対して、「何かお手伝いすることはありますか」、「何か困っていませんか」という声かけをお互いにしていき、助け合いながら抜け出せるような工夫をしていくことがとても大事ではないかと思っています。本当に大事な一歩は、無関心から関心を持つことです。そして、関心を持っただけで終わるのではなく、サルマンさんのお話にあった、自分の家の料理の匂いが隣の家に行ったら、料理を分けてあげようという気持ちを持っていただきたい。それができれば、家にお金が350円しかなくて、3日間食べられない子どもの存在はなくなるはずです。お互いに目を配りあいながら助け合うということは、相手が外国人だからというわけではありません。日本人同士でも、「マイハウス」の中でそのような関係が生まれることが多文化共生ではないかと思っています。

このようなまとめで、本日のパネリストのみなさんのお気持ちを少しでも代弁できていればよいと思います。尹さん、新岡さん、サルマンさん本日はありがとうございました。また、通訳をしていただいた丸谷さんもうありがとうございました。

司会

最後にフォーラム部会の部会長、^{きむてすん}金泰崇より閉会のあいさつをいたします。

金

フォーラム部会長の金泰崇と申します。自己紹介と感想もかねて、閉会のあいさつをさせていただきます。

私は、1989年に神奈川県で生まれました、在日朝鮮人3世です。私は小中高と朝鮮学校に12年間通い、明治学院大学を卒業し、現在は在日本朝鮮留学生同盟の神奈川県本部の責任者を務めています。まずは、本日外国籍県民フォーラムにたくさんの方にお集まりいただき、本

当にありがとうございます。短い時間ではありましたが、3名のパネリストの方からご発言をいただき、私として感じたことを述べさせていただきます。

現在、日本全体に、外国人が約200万人いると聞いております。そのうち、神奈川県に約16万6千人の外国人が住んでいます。その中に、私のような在日朝鮮人・韓国人が約3万人含まれています。そのため、神奈川県で多文化共生を考えるということは、非常に意義があり、決して避けて通れない問題だと思えます。

今、テレビのニュースを見ている、在日外国人による事件が世間を騒がせたり、朝鮮民主主義人民共和国、いわゆる北朝鮮が核兵器を保有して治安を乱しているなどの報道があったり、先ほどお話にもありましたがイスラム国の問題も報道されています。これにより、日本人の外国人に対する目というのは非常に厳しいものになっていますし、ヘイトスピーチなどの、在日外国人に対する排他的な言動も目につくのが現状だと言えます。

また、明日のワークショップのテーマにもなっていますが、2020年に東京オリンピックを控え、このままでいいのかという問題が、今まさに私たちの目の前に突きつけられている問題だと思えます。約200万人の在日外国人と日本人が、お互いに手を取りあい、本当の意味での多文化共生を築くにあたり、ヘイトスピーチやマスコミの報道を鵜呑みにしてしまっているのかということを、本日のフォーラムを通じて、今一度考えることができたいと思えます。

私は、人種も国籍も民族や文化もバラバラであることは、決して悪いことではないと思えます。本当の意味での多文化共生が、理想ではなく、現実として私たちの目の前に開かれることは不可能ではないと思えます。そのためにはまず、隣にある国や、目の前にある異文化に対して本当の意味で理解し、自分は無関係だと考えるのではなく、お互いに尊重して、理解し合うことだと思えます。

2日間のあーすフェスタのさまざまなイベント、企画を通じて、多文化共生をみなさんと一緒に考えることが出来ればと思っております。少し長くなりましたが、挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。」

同会

以上をもちまして、外国籍県民フォーラム『かながわに暮らす外国人から多文化共生を考えよう～互いの理解・尊重から始まる多文化共生～』を終了いたします。

私も、このフォーラムを機に、ともに生きる地域をつくるみなさまと手を携え、ますます頑張っていきたいと思えます。本日ご出席いただいた滝田先生、パネリストのお三方に大きな拍手をお願いいたします。

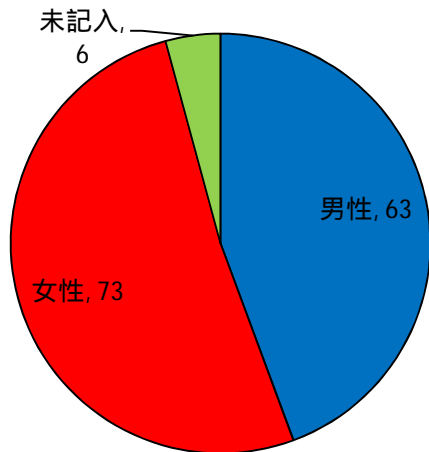
みなさまに一つお願いがございます。このフォーラム終了後、アンケートの記入をお願いいたします。お帰りの際に入口のスタッフにご提出いただければと思えます。本日は誠にありがとうございました。この後もあーすフェスタ2015をお楽しみください。ありがとうございました。

4. あーすフェスタかながわ2015 来場者アンケート結果

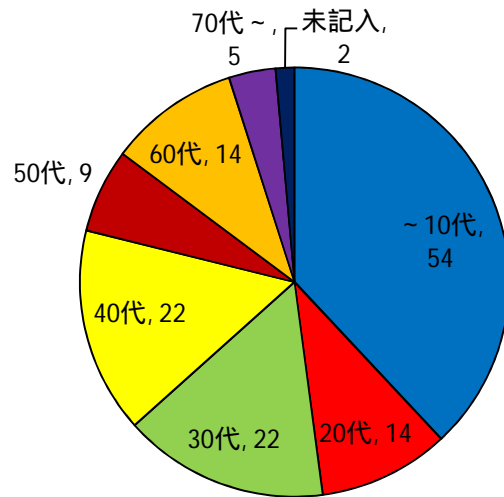
(回答者数:142名)

(1) 回答者の属性

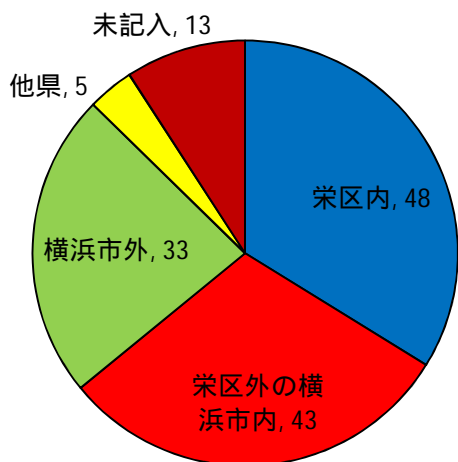
性別



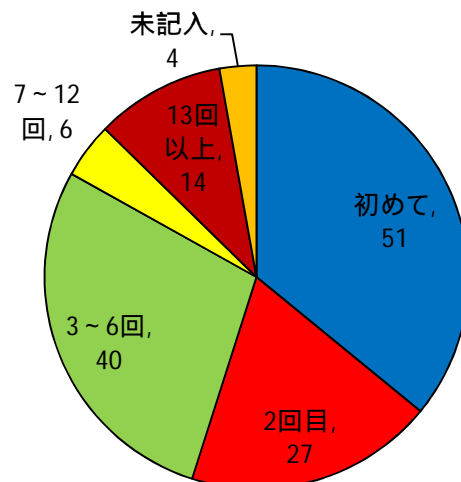
年齢



住所



来場回数



国籍

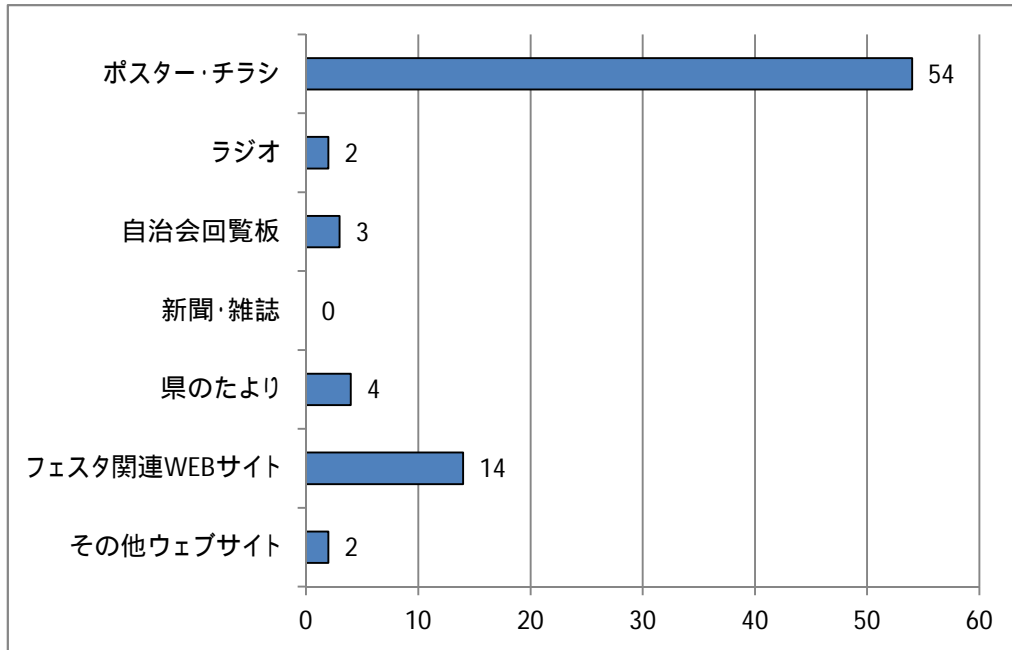
(単位:名)

日本	中国	韓国	朝鮮	イギリス	インドア	ブラジル	アメリカ	カンボジア	カナダ
121	2	1	1	1	1	2	2	1	1

(2) 広報の結果

このイベントをどこでしましたか？

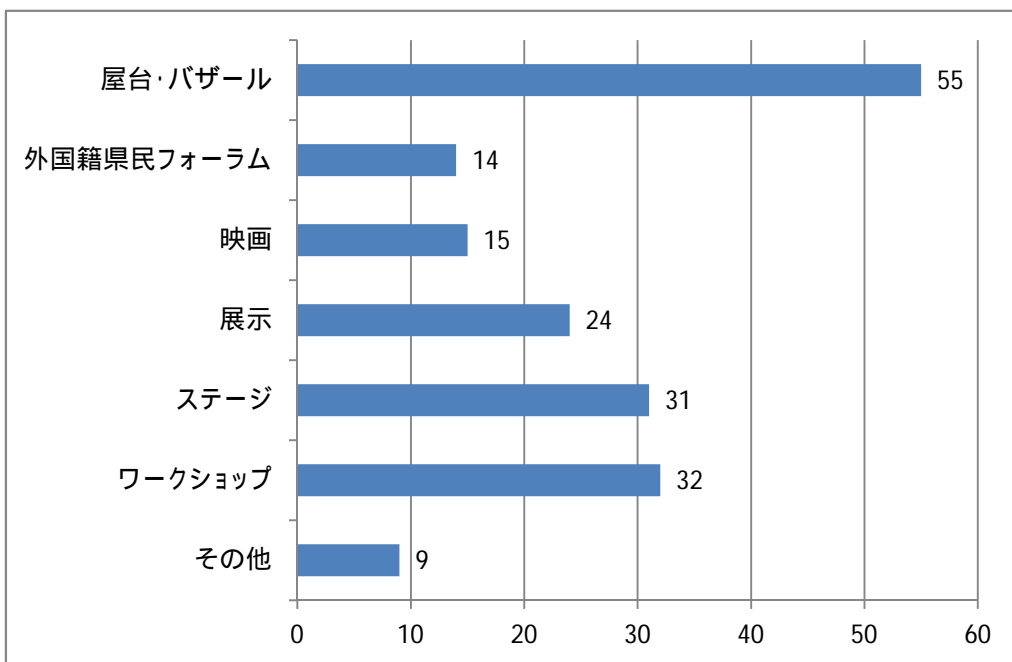
(単位:名)



特に良かったプログラムは？

複数回答可

(単位:名)



あーすフェスタかながわ2015来場者コメント

番号	性別	国籍		年齢	住所		1	2	3	自由記入
		選択肢	その他		選択肢	選択肢	来場回数	楽しかった ですか?		
1	女性	日本		30代	横浜市外		通りがかった	はじめて来た	楽しかった	ポランティアの方がみんな親切で明るく雰囲気よかったです。こどもがトイレをいそいでいる時に近くまで案内してくれたり、ゴミ分別の姿にも感激いたしました。ゴミ終了のご案内をわざわざ声かけてくれたり、ふうせん作る方々も、ケバブ・チョリソーなどおいしかったです。また来年も来たいと思います。
2	女性	日本		～10代	栄区以外の横浜市		ポスター・チラシ	3回～6回目	まあまあ	とても良いと思いました。また来たいと思いました。今日はありがとうございました。
3	男性	その他	イギリス	20代			フェスタ関連WEBサイト	はじめて来た	楽しかった	I had a very nice time. It was very fan. Kebab was delicious. In addition, I want to come!! Perfect.
4	女性	日本		～10代	栄区以外の横浜市		ポスター・チラシ	2回目	楽しかった	色々な国々の衣装を着させてもらい、とても楽しかったです。来年も来たいです。ありがとうございました。
5	女性	日本		50代	横浜市外		ポスター・チラシ	3回～6回目	楽しかった	土曜ラストのステージ・ウクライナの人の演奏は秀逸でした。これだけでもここまで来た甲斐がありました。5時までと聞いていたので、ゆっくりしていたら、バザールは4時までだったので、もう少しはつきり、「4時まで！」と書いてほしいです。
6	女性	日本		40代	横浜市外		フェスタ関連WEBサイト	はじめて来た	楽しかった	ボランティアの大学生？がたくさんいて、子供達にもやさしく遊び方を教えてくれた。クラブを買ったら、写真は生イチョゴが入っているのに、ジャムしか入ってなかった。
7	男性	日本		～10代	横浜市外		その他	2回目	楽しかった	とても楽しかったので、どんどんつづけてください。
8	女性			～10代	横浜市外		その他	2回目	楽しかった	
9	女性	日本		～10代	横浜市外		フェスタ関連WEBサイト	はじめて来た	楽しかった	また来たいなと思いました。
10	女性	日本		～10代	横浜市外		フェスタ関連WEBサイト	2回目	楽しかった	また来たいなと思いました。
11	男性	日本		～10代	横浜市外		ポスター・チラシ	はじめて来た	楽しかった	カテリーナさんの演奏がとても印象に残りました。泣きました。いわゆる男泣きというやつです。
12	男性	日本		20代	横浜市外		その他	はじめて来た	楽しかった	
13	男性	日本		～10代	栄区以外の横浜市		ポスター・チラシ	はじめて来た	楽しかった	楽しかったです。
14	男性	日本		～10代	栄区以外の横浜市		その他	はじめて来た	楽しかった	色々な世界の文化を知れた。
15	女性	日本		～10代	栄区内			2回目	楽しかった	
16	男性	日本		50代	栄区内		その他	7回目～12回目	楽しかった	
17	男性	その他	インド	20代	他県		ポスター・チラシ	はじめて来た	楽しかった	各ストアや屋台にどこの国の料理が分かるために人のうしろにかんばんを立ててほしい。
18	男性	日本		～10代	栄区内		ポスター・チラシ	毎年来ている	全然楽しくない	楽しかったです、ありがとうございました。
19	男性	日本		～10代	栄区内		ポスター・チラシ	3回～6回目	あまり楽しくない	とても良い。
20	女性	日本		50代	栄区内		ポスター・チラシ	7回目～12回目	楽しかった	ゴミの分別がきちんとできていてよいと思う。ゴミの分別がもう1カ所ぐらいあるとよいと思う。(人混みのためなかなか捨てづらい)
21	女性	その他	ブラジル	60代	横浜市外		ポスター・チラシ	3回～6回目	楽しかった	
22	女性	日本		60代			自治会回覧板	13回以上	楽しかった	盛り上がり良いと思う。
23	女性	日本		30代	栄区内		通りがかった	3回～6回目	楽しかった	毎年来て楽しませてもらっています！
24	女性	日本		～10代	栄区内		ポスター・チラシ	2回目	楽しかった	
25	男性	日本		60代	栄区内		その他	13回以上	楽しかった	係員の皆さん、ごろうさます！
26	女性	その他	中国	～10代	栄区以外の横浜市		通りがかった	2回目	楽しかった	本当に楽しかった。世界を一周したような気分でした。
27	女性	日本		～10代	栄区以外の横浜市		その他	2回目	楽しかった	外国の文化を見たり、食べたりして楽しめました。
28	男性	日本		70代～	栄区内		ポスター・チラシ	3回～6回目	楽しかった	毎回楽しみです。
29	男性	その他	アメリカ	～10代	横浜市外		その他	2回目		
30	男性	日本		30代	栄区内		ポスター・チラシ	3回～6回目	楽しかった	もっとイロイロな国の参加があるといいですね。
31	男性	日本		30代	栄区以外の横浜市		通りがかった	3回～6回目	楽しかった	
32	女性	日本		～10代	横浜市外		ポスター・チラシ	はじめて来た	楽しかった	
33	女性	日本		～10代	栄区以外の横浜市		ポスター・チラシ	はじめて来た	楽しかった	
34	女性	日本		～10代	栄区以外の横浜市		ポスター・チラシ	はじめて来た	楽しかった	
35	男性	日本		40代	栄区以外の横浜市		その他	はじめて来た	まあまあ	
36	男性	日本		～10代	栄区以外の横浜市		通りがかった	2回目	楽しかった	よくがんばりました！
37	男性	日本		～10代	横浜市外		その他	はじめて来た	まあまあ	ケバブおいしかった
38	女性	日本		60代			通りがかった	2回目	楽しかった	
39	男性	日本		40代	栄区内		自治会回覧板	3回～6回目	全然楽しくない	7回も来たいと思いました。Thank you.
40	女性	日本		～10代	横浜市外		ポスター・チラシ	はじめて来た	まあまあ	民族衣装を着れるコーナーがたのしかった。
41	女性	日本		～10代	栄区以外の横浜市		ポスター・チラシ	はじめて来た	まあまあ	異文化にふれることができ、良い経験になりました。
42	女性	日本		20代	栄区内		通りがかった	はじめて来た	楽しかった	

あーすフェスタかながわ2015来場者コメント

43	女性	日本		40代	栄区内	ポスター・チラシ	はじめて来た	楽しかった	世界の屋台村がいるいるあって楽しかった。アジアンケバブのケバブサンド・スーパーズブラジルのブラジルパステルおいしかった。座って食べられるスペースがあり良かったです。またきたいです、ボランティアの皆さまおつかれさまです。
44	男性	日本		40代	栄区以外の横浜市内				
45	女性			70代～					
46	女性	日本		～10代	栄区以外の横浜市内		2回目	楽しかった	とてもにぎやかでたのしいです！！
47	男性	日本		～10代	栄区以外の横浜市内	フェスタ関連WEBサイト	2回目	あまり楽しくない	
48	女性	日本		40代	横浜市外	ラジオ	はじめて来た	まあまあ	また来たいです。マップをもっと分かりやすく作ってほしいです。
49	女性	日本		～10代	栄区内	その他	3回～6回目	楽しかった	
50		その他	カンボジア	20代			はじめて来た	楽しかった	いるんなくがあつまって、りょうりとかたべさせてもらった、うれしかったです。こんどもよろしくおねがいします。
51	女性	日本		40代	栄区内	ポスター・チラシ	2回目	楽しかった	おまつりな感じで楽しいです。
52									今日は天気が不安定でHPで開催が否かを確認しました。屋内に移ることは記載されましたが、短縮され4時終了とは書かれていませんでした。5時までのつもりで、交通費をかけたのに終了してしまいました。早く切り上げて終了するなら、通知するべきです。
53	女性	日本		60代	栄区内	ポスター・チラシ	13回以上	楽しかった	とてもよい企画です。おつかれさまでした。
54	女性	日本		～10代	栄区内	ポスター・チラシ	13回以上	楽しかった	
55	男性	日本		60代		ポスター・チラシ	はじめて来た	楽しかった	これからも毎年見学にきたいと思います。すばらしいパフォーマンスです。
56	男性	日本		50代		その他	3回～6回目	楽しかった	ファイナルステージには特に心を動かされました。映像でつづった2日間の記録はすばらしいものでした。
57	女性			50代		フェスタ関連WEBサイト	3回～6回目	楽しかった	屋台の値段が高い、フィナーレがすばらしい、キロク(映像)を見ることで、こんな内容もあったのだと2日間の祭りの全体像がわかりました。
58	男性	日本		70代～	栄区内	ポスター・チラシ	3回～6回目	まあまあ	
59	男性	日本		～10代	横浜市外	ポスター・チラシ	はじめて来た	楽しかった	わたあめがおいしかった。
60	女性	日本		～10代	栄区内	ポスター・チラシ	3回～6回目	楽しかった	楽しかった。あめ、たべものおいしかった。
61	男性	日本		～10代	栄区内	ポスター・チラシ	3回～6回目	楽しかった	楽しかった。
62	女性	日本		30代	栄区以外の横浜市内	県のたより	はじめて来た	楽しかった	
63	男性	日本		40代	栄区内	自治会回覧板	3回～6回目	楽しかった	
64	男性	日本		40代	横浜市外	ポスター・チラシ	はじめて来た	楽しかった	
65	男性	日本		70代～	栄区内	通りがかった	2回目	楽しかった	いろいろな国のライブ大変たのしかった。世界旅行が一部出来た。大変すばらしい企画です。
66	女性	日本		60代	栄区以外の横浜市内	フェスタ関連WEBサイト	3回～6回目	楽しかった	14:00～ラップよかった。"ゴースト？ おおいちゃんの言葉"丸く小さく生きれ、と日本に渡って、多分、くず鉄ひろいから始まった日本の生活を聞いて涙出たよ。
67	男性	日本		～10代	栄区内	ポスター・チラシ	3回～6回目	まあまあ	
68	男性	日本		40代	栄区内	ポスター・チラシ	13回以上	楽しかった	とらんぼりんの待ち時間が少なければもっと良かった。
69	女性	日本		40代	栄区以外の横浜市内	ポスター・チラシ	3回～6回目	楽しかった	
70	女性	日本		～10代	横浜市外	フェスタ関連WEBサイト	3回～6回目	楽しかった	とても楽しいので、毎年続けて欲しいです。
71	女性	中国		60代	栄区内	その他	3回～6回目	まあまあ	
72	男性	日本		60代	栄区内	その他	13回以上	楽しかった	毎年催し物を見に来て、楽しんでます。係員の皆様へ感謝します。
73	女性	日本		30代	栄区内	ポスター・チラシ	はじめて来た	楽しかった	
74	女性	日本		60代	他県	その他ウェブサイト	3回～6回目	楽しかった	案内不足がもったいない、1:30にお茶席入りしましたが、日本茶しなくて残念でした。おいしかったので、他のお茶も飲んでみたかった。残念です。
75	女性	日本		60代	栄区内	ポスター・チラシ	3回～6回目	まあまあ	バッグはさっそく使ってみたく、たいへん良い。
76	女性	日本		50代	栄区以外の横浜市内	ポスター・チラシ	はじめて来た	楽しかった	
77	男性	日本		～10代	栄区以外の横浜市内	その他	はじめて来た	楽しかった	またボランティアで来たいと思います。
78	男性	日本		～10代	栄区以外の横浜市内	その他	はじめて来た	楽しかった	また来年もボランティアで来たいと思います。
79	男性	日本		30代	栄区以外の横浜市内	フェスタ関連WEBサイト	はじめて来た	楽しかった	展示が充実しており、あーすフェスタにふさわしいものでした。
80	女性	日本		50代	栄区内		13回以上	楽しかった	ユニセフさんが居なかったのが残念。
81	男性	日本		40代	横浜市外	ポスター・チラシ	3回～6回目	楽しかった	
82	女性	日本		60代	栄区内	ポスター・チラシ	はじめて来た	楽しかった	
83	男性	日本		～10代	栄区内	その他	13回以上	楽しかった	
84	男性	日本		40代	栄区以外の横浜市内	ポスター・チラシ	3回～6回目	まあまあ	

あーすフェスタかながわ2015来場者コメント

85	女性	日本		30代	横浜市外	その他	3回～6回目	楽しかった	毎年来ていますが、いつも大盛況ですね。屋台の値段も安めで、何店が食べられるのも良いです。ステージも立ち見が出るほど、たくさんで熱気にあふれていました。今年は日本茶が抹茶じゃなかったのが少し残念でしたが、韓国のお茶おいしかったです。お茶の種類がもう少しあっても良いと思いました。4ヶ国以上とか...
86	男性			40代	栄区内	県のたより	7回目～12回目		
87	女性	日本		20代	横浜市外	その他ウェブサイト	はじめて来た	まあまあ	屋台で挑戦してみたいけれど、味がよく分からず違うものを選んでしまう人が多かったので、試食を設けたり、パンフレットに詳しい説明をつけたりすると良いと思いました。パンプーダンスは子供がいきいきして楽しそうでした。
88	女性	日本		～10代	栄区内	その他	3回～6回目	楽しかった	
89	女性	日本		～10代	栄区内	通りがかった	13回以上	楽しかった	またきたいです。
90	女性	日本		30代	栄区以外の横浜市	県のたより	7回目～12回目	楽しかった	屋台前の通路、狭い所は座っての飲食は不可にした方が道が通りやすいと思った。楽しいイベントなので、来年も開催してほしい！ダンス体験プログラムがあると面白そう。世界のおどりを見るのではなく、おどる。
91	男性	日本		～10代	栄区以外の横浜市	その他	はじめて来た	楽しかった	また来年もボランティアで来たいと思います！
92	男性	日本		～10代	栄区内	その他	3回～6回目	楽しかった	5Fのあそびのトランポリンがすごかったのしかったです。
93	男性	日本		20代	栄区以外の横浜市	その他	3回～6回目	楽しかった	屋台の通路スペースがせまくて不便だった。
94				60代		ポスター・チラシ	3回～6回目	楽しかった	ピエナーレの絵は外国らしい絵で見応えがあった。外国の子供の絵は、日本人の子供の絵と違う。色があざやか(どぎつい)。形も何となく違う。このことは、絵だけでなく、人格、心も日本人とは全く違うような気がする。風土のせいかな、宗教か、遺伝か、大人になればその差はさらに大きくなると思う。日本のわびさびは外国人にどのように映るのだろうか。
95	女性	その他	ブラジル	40代	横浜市外	その他	3回～6回目	楽しかった	ボランティアの皆様ありがとうございました。
96	男性	日本		20代	横浜市外	通りがかった	はじめて来た	まあまあ	完璧すぎる。100点満点。
97	男性	日本		30代	横浜市外	フェスタ関連WEBサイト	はじめて来た	楽しかった	
98	女性	日本		～10代	栄区内	通りがかった	はじめて来た	楽しかった	あそびが、パズルがあったりして楽しかった。
99	男性	日本		～10代	横浜市外	フェスタ関連WEBサイト	はじめて来た	まあまあ	
100	女性	日本		30代	横浜市外	その他	13回以上	楽しかった	小さい子も楽しめて良かったです。ステージの子どものフラダンスがとてもかわいかった。
101	男性	日本		～10代	栄区内	その他	3回～6回目	楽しかった	外国のことに興味を持って、将来色々な所へ旅行したくなりました。
102	女性	日本		30代		ポスター・チラシ	はじめて来た	楽しかった	子供向けプログラムはわかりやすく、良かった。食べる席が十分でよかった。ゲームを子供に教えてくれたボランティアの方が親切でとても楽しめた。
103	男性	日本		～10代	栄区内	その他	13回以上	まあまあ	
104	男性	その他	アメリカ	40代	栄区内	県のたより	7回目～12回目	楽しかった	ぬり絵、ふあふあなど子供が楽しんでいた。ただ、もう少し様々なプログラムがあれば、より良かった。けれど、それ以外は良かった。
105	女性	日本		30代	栄区以外の横浜市	通りがかった	3回～6回目	まあまあ	
106	女性	日本		40代	横浜市外	その他	3回～6回目	楽しかった	つづいていきますように。
107	男性	日本		40代	栄区内	その他	13回以上	あまり楽しくない	誕生日手当をつくる。世界中老若男女、1人当たり1000万円。たんじょうびにもらって、次の誕生日までつかい、また誕生日にもらう。インフレ、デフレ、関係なくなる。人類皆さようだい。
108	男性			～10代	栄区以外の横浜市	その他	はじめて来た	楽しかった	またボランティアで来たいです！ケバブもサイコでした！
109	男性	日本		50代	横浜市外	ラジオ	13回以上	楽しかった	キャンにやられました
110	男性	朝鮮	アメリカ	20代	栄区以外の横浜市	その他	2回目	まあまあ	
111	男性	日本		20代	栄区以外の横浜市	通りがかった	2回目	楽しかった	
112	女性	日本		～10代	栄区以外の横浜市	ポスター・チラシ	はじめて来た	楽しかった	たのしかったです。
113	男性	日本		～10代	栄区内	その他	はじめて来た	楽しかった	栄区の方に活気があって楽しい！
114	男性	日本		30代	栄区内		3回～6回目	楽しかった	
115	男性	日本		～10代	横浜市外	その他	2回目	楽しかった	とてもいい経験になった。
116	女性	日本		30代	栄区内	通りがかった	はじめて来た	楽しかった	とてもおもしろかったです。来年もその次もよろしくお願致します。
117	女性	日本		20代	栄区以外の横浜市	ポスター・チラシ	2回目	楽しかった	
118	女性	日本		30代	栄区以外の横浜市	その他	はじめて来た	楽しかった	民族衣装や世界の遊びではこどもが楽しんでいて良かったです。
119	男性	日本		30代	他県	フェスタ関連WEBサイト	7回目～12回目	楽しかった	今後も続けてほしいです。また来ます！
120				40代	栄区内	ポスター・チラシ	3回～6回目	楽しかった	
121	女性	日本		60代	栄区内	その他	2回目	楽しかった	
122	女性	日本		30代	栄区内	その他	2回目	楽しかった	各国の料理があって楽しい。

あーすフェスタかながわ2015来場者コメント

123	女性	日本	40代	栄区以外の横浜市	その他	2回目	楽しかった	お金が足りなくて、その日の5時までと聞いたので15分前には戻ってきましたが、既に撤収されていて取り置きしてもらったものが買えなくて残念でした。次の日(今日)も来ましたが、出店者の都合でお店がなくてまた残念でした。
124	男性	日本	30代	栄区内	ポスター・チラシ	3回～6回目	楽しかった	屋台はアジアが多いので、エジプトを含むアフリカ系、トルコを中心とした中東の地域が充実すると良いです。お茶は飲み比べならもっと良かった。400円位で。
125	女性	日本	20代	栄区以外の横浜市	その他	3回～6回目	楽しかった	
126	女性	日本	～10代	栄区以外の横浜市	ポスター・チラシ	2回目	まあまあ	
127	女性	日本	20代	栄区以外の横浜市	ポスター・チラシ	はじめて来た	楽しかった	
128	女性	日本	50代	栄区以外の横浜市	ポスター・チラシ	3回～6回目	楽しかった	毎年たのしみにしています。海外のサポート団体などの説明も聞ければいいなと思った。
129		日本	～10代	栄区内	ポスター・チラシ	2回目	楽しかった	もっと肉料理をふやしてほしい。(種類・店舗)ドリンクコーナーを作ってほしい。ダンスがとて楽しかった。料理もとても美味しかった。来年もまた来たい。楽しい思い出をありがとう。
130								広場の音楽がウルサイ。めしを食う気がしない。ランチ時だけでも世界の民謡の様なプログラムにしては、本フェスタとウルサイ音楽の関係が不明。マイクのパウリングもなんとかしてほしい。
131	女性	日本	30代	横浜市外	ポスター・チラシ	はじめて来た	楽しかった	子連れで来られるので楽しいです。室内があるのもたすかります。
132	女性	日本	～10代	栄区以外の横浜市	ポスター・チラシ	2回目	楽しかった	
133	女性	日本	40代	横浜市外	ポスター・チラシ	はじめて来た	楽しかった	
134	女性	韓国	30代	他県	フェスタ関連WEBサイト	はじめて来た	まあまあ	
135	女性	日本	30代	他県	その他	はじめて来た	まあまあ	
136	男性	日本	20代	栄区以外の横浜市	フェスタ関連WEBサイト	2回目	楽しかった	
137	女性	日本	40代		ポスター・チラシ	3回～6回目	楽しかった	子どもがのどがかわいた！と言っていました。ドリンクをなかなか探せませんでした…料理はとてもおいしかったです。来年もまた参加します。
138	女性	日本	70代～	横浜市外	通りがかった	はじめて来た	楽しかった	
139	男性	日本	～10代	栄区以外の横浜市	ポスター・チラシ	2回目	楽しかった	最高！
140	男性	その他	カナダ	～10代	栄区以外の横浜市	ポスター・チラシ	はじめて来た	楽しかった
141	男性	日本	～10代	横浜市外	ポスター・チラシ	はじめて来た	まあまあ	楽しいです
142	男性	日本	～10代	栄区以外の横浜市	通りがかった	はじめて来た	楽しかった	

5. あーすフェスタかながわ2015 企画委員名簿

あーすフェスタかながわ2015に携わった企画委員を、部会ごとに紹介します。

企画委員長・副委員長

企画委員長 ちようす そ 曹 壽昭（在日本大韓国民団神奈川県地方本部）
副委員長 きむてすん 金泰崇（在日本朝鮮留学生同盟神奈川県本部）
おざわひろか 小澤洋香（横浜華僑総会）

部会

フォーラム部会

部会長 きむてすん 金泰崇
副部会長 はらだかずのり 原田和徳、りへよん 李慧瑛
会計担当 とくのさなえ 徳野早苗
部会員 うんりよんす 殷 龍珠、かねこえみこ 金子恵美子、こにしえりこ 小西永里子、さわとごさいどう サウドゴサイドウ、しもうらようこ 下浦陽子、にほんぎちな 二本木千奈、
ふじしろまさと 藤代将人、べいあん 裴安（50音順）

【担当プログラム等】

- ・外国籍県民フォーラム『かながわに暮らす外国人から多文化共生を考えよう。～互いの理解・尊重から始まる多文化共生～』
- ・シネマコレクション 映画『バベルの学校』映画上映とトークショー
- ・多文化共生を考えるワークショップ～外国人労働者の受入れから多文化共生へ～

ワークショップ部会

部会長 いじよんすん 李楨昇
副部会長 ばくよんじゆん 朴勇俊
会計担当 たいまともお 當間智雄、よしだえつこ 吉田悦子
部会員 いまいずみよしお 今泉好夫、うめだれいこ 梅田玲子、かざまとしひこ 風間聡彦、きむじえわん 金載旺、たかはしせいじゆ 高橋清樹、ちよんよんそん 鄭榮誠、はつだきみこ 初田貴美子
まえだあや 前田綾、みさわのりこ 三沢範子、りゅうてい ヨアヒムシュミット、劉挺（50音順）

【担当プログラム等】

- ・せかいの遊び場
- ・せかいのわらべうた（こどものあそび歌）
- ・せかいの絵本の読み聞かせとおはなし
- ・せかいのごあいさつを毛筆で
- ・せかいの音と踊り
- ・せかいのお茶をどうぞ

交流展示部会

部会長 きむうんじゆ 金銀珠
副部会長 たかはしあんな 高橋安奈

会計担当 ほんだれいこ わたなべ さ おり
本田怜子、渡辺早織
部会員 あいざわこういち えんどうあきら おおうち さ え おざわひろか たかはししずお なかのゆきまさ ふあんすりよる
愛澤孝一、遠藤晃、大内彩衣、小澤洋香、高橋鎮雄、中野幸昌、黄帥烈、
まるたにしづこ
丸谷土都子（50音順）

【担当プログラム等】

- ・外国人学校の子どもの絵画展
- ・子どもたちの学校紹介
- ・世界とつながるJICA、世界とつながる神奈川県
- ・外国籍県民かながわ会議を知ろう
- ・大きな絵本
- ・世界のあいさつ教室
- ・触れてみよう！着てみよう！世界の楽器・民族衣装
- ・地球一周の船旅
- ・世界の絵はがき
- ・日本とパラオ～歴史を越えた友情

ステージ部会

部会長 きむひよの
金玄虎
副部会長 いざわ いしかわかずとも
伊沢こころ、石川和友
会計担当 いとうたけかず
伊藤丈和
部会員 いじまあやね いとうひろこ おんようけん かわちともゆき こんりよんずん つのだみさこ はせがわあみ
飯島彩音、伊藤裕子、温耀権、河内智之、孔連順、角田操子、長谷川亜美
はらだなおまさ ふじわらあい むらおかこうた やじまさき
原田直真紗、藤原愛、村岡宏太、矢島正喜（50音順）

【担当プログラム等】

- ・みんな集まれ！アイランド！
- ・せかいが響く魅惑のミュージック
- ・ここ（栄区）から発信未来へGO！
- ・若い力と民族の鼓動
- ・フィナーレ

推進サポート部会

部会長 いさんちよる
李相哲
会計担当 やすはらりょうたろう
安原良太郎、
部会員 いせひろみ さかいひろこ すがたともき せきはるか なかむらのーまん のなみたけろう もりたせいじ
伊勢博美、酒井浩子、菅田朋樹、関春香、中村ノーマン、野並丈朗、森田誠二
（50音順）

【担当プログラム等】

- ・あーすフェスタかながわ2015の広報
- ・会場案内
- ・来場者アンケート

6 . あーすフェスタかながわ 2015 開催経過

1 実行委員会

- 第1回 日時:2015年10月21日(火)15:00~16:00
場所:かながわ県民センター2階 特別会議室
内容:あーすフェスタかながわ 2015 実行委員会設置要綱(案)について
実行委員会役員の選出について
あーすフェスタかながわ 2015 実施概要(案)について
あーすフェスタかながわ 2015 実施予算案(案)について
- 第2回 日時:2015年5月7日(木)15:00~16:30
場所:かながわ県民センター12階 第一会議室
内容:あーすフェスタかながわ 2015 最終企画(案)について
あーすフェスタかながわ 2015 補正予算(案)について
- 第3回 書面表決
内容:あーすフェスタかながわ 2015 収支決算について
あーすフェスタかながわ 2015 実行委員会の解散について

2 企画委員会

- 第1回 日時:2014年11月26日(水)19:00~21:00
場所:神奈川韓国会館
内容:あーすフェスタかながわの関係組織や実施までの流れの説明
委員自己紹介
企画委員長の選出について
- 第2回 日時:2014年12月17日(水)19:00~21:00
場所:横浜華僑総会
内容:副委員長の選出について
部会の設置について
屋台・バザールの募集について
チラシデザインについて
- 第3回 日時:2015年1月20日(火)19:00~21:00
場所:朝鮮総連神奈川県本部
内容:副委員長の承認について
各部会企画案について
会計マニュアル及び出演者等の謝礼について
部会協議

第4回 日時:2015年2月18日(水)19:00~21:00

場所:神奈川韓国会館

内容:チラシデザインについて

ボランティアについて

各部会企画案について

部会協議

第5回 日時:2015年3月10日(火)19:00~21:00

場所:横浜華僑総会

内容:予算について

ボランティアについて

各部会企画案について

部会協議

第6回 日時:2015年4月8日(水)19:00~21:00

場所:朝鮮総連神奈川県本部

内容:予算の確定

屋台・バザール出店者報告

広報について

各部会企画案について

部会協議

第7回 日時:2015年4月8日(水)19:00~21:00

場所:神奈川韓国会館

内容:スタッフマニュアル確認

最終企画案について

部会協議(懇親会)

第8回 日時:2015年6月23日(火)19:00~21:00

場所:横浜華僑総会

内容:あーすフェスタかながわ2015振り返り

部会毎に反省点・感想発表

7. あーすフェスタかながわ2015 収支報告

1 収入の部

(単位:円)

項目	当初 予算額	補正 予算額	補正後予算 (a)	決算 (b)	増減 (b-a)	摘要
主催者負担金	1,018,000	0	1,018,000	1,018,000	0	
あーすネット	200,000	0	200,000	200,000	0	
神奈川県	618,000	0	618,000	618,000	0	
JICA	200,000	0	200,000	200,000	0	
協賛金	1,530,000	75,000	1,605,000	1,605,000	0	
出店協力金	704,000	6,680	697,320	685,320	12,000	屋台、バザール出店料
繰越金	268,762	0	268,762	268,762	0	あーすフェスタかながわ2014からの繰越
雑収入	13,000	17,000	30,000	44,835	14,835	ワークショップ参加費、銀行利子等
合計	3,533,762	85,320	3,619,082	3,621,917	2,835	

2 支出の部

(単位:円)

項目	当初 予算額	補正 予算額	補正後予算 (a)	決算 (b)	増減 (b-a)	摘要
会場設営費	953,000	0	953,000	933,873	19,127	テント・会場装飾品借用料等
プログラム運営費	1,475,000	65,000	1,540,000	1,443,922	96,078	ゲスト謝金、機器・什器レンタル料、 消耗品等購入、チラシ・ポスター等
全体運営費	918,000	58,000	976,000	862,925	113,075	保険料、ボランティア昼食代等
事務局運営費	187,762	37,680	150,082	59,681	90,401	連絡通信費、その他事務経費
繰越金	0	0	0	321,516	321,516	あーすフェスタかながわ2016への繰越
合計	3,533,762	85,320	3,619,082	3,621,917	2,835	

8. あーすフェスタかながわテーマソング

「世界をつなぐ奇跡」

作词：刈川圭祐 作曲：tomoko

いま あつ たからもの
今ここに 集まった それぞれの 宝物

ひと みな ちが たが あい
人は皆 違うから お互いを 愛せるの

めぐ あ きせき
巡り逢えた この奇跡

わたし つつ やさ えがお
私 たちを包んで 優しい笑顔になる

おし わたし おし
あなたのこと教えて 私のこと教えよう

いませかい つな
今世界がここで 繋がる

ばしょ う ことば かな
どんな場所で 生まれたの どんな言葉 奏でるの

ふしぎ ちが に かん
不思議だね 違うのに 似ていると 感じるの

めぐ あ きせき
巡り逢えた この奇跡

おく なか ちい かがや
70億の中で 小さく輝いている

ことば おも つた
言葉にできなくても 想いは伝わるから

いませかい つな
今世界をここで 繋げよう

い て わたし ともだち
さあ行こう 手をつなぎ いつまでも 私たちは友達

いませかい つな つな
今世界をここで 繋げよう 繋がる

あーすフェスタかながわ 2011 及び 2012 において、ステージ部会の尽力により、2年がかりで、あーすフェスタの公式テーマソングが製作されました。

あーすフェスタかながわ 2011 に tomoko さんによる素晴らしい楽曲が完成、あーすフェスタかながわ 2012 に歌詞を公募し、47 作品の中から選ばれたのが、刈川圭祐さん作の「世界をつなぐ奇跡」でした。

このテーマソングは、あーすフェスタかながわのホームページで視聴できます

<http://www.earthplaza.jp/earthfesta/themesong.html>